

8. 10. 景觀

8.10. 景観

8.10.1. 現況調査

(1) 調査内容

調査内容は、表 8.10-1に示すとおりとした。

表 8.10-1 調査内容（景観）

調査内容	
景観	1. 主要な眺望地点の状況 ・眺望地点の位置，利用状況，眺望特性 ・主要な眺望地点からの眺望の状況

(2) 調査方法

ア 既存文献調査及び現地調査

調査方法は、表 8.10-2に示すとおりとした。

表 8.10-2 調査方法（景観：既存文献調査及び現地調査）

調査内容	調査方法
1. 主要な眺望地点の状況 ・眺望地点の位置，利用状況，眺望特性	既存文献等により対象地域における眺望地点を抽出し，現地調査等により眺望地点の特性や利用状況を把握するものとした。
・主要な眺望地点からの眺望の状況	眺望地点の特性解析結果から主要な眺望地点を抽出し，写真撮影等により眺望の状況を把握するものとした。

(3) 調査地点

ア 既存文献調査及び現地調査

「6 地域の概況 6.1 自然的状況 6.1.5 景観等」の地域概況調査で得られた主要な眺望地点を参考にしつつ、対象事業計画地を視認できる可能性のある眺望地点を選定した。

調査地点は、表 8.10-3に示す 15 地点とした。

表 8.10-3 調査地点（景観：既存文献調査及び現地調査）

地点番号	調査地点	対象事業計画地からの距離		備考
1	愛宕地区	約 400m	近景域	眺望地点
2	紫山公園	約 700m	近景域	
3	寺岡地区	約 100m	近景域	
4	寺岡地区_住宅地内	約 500m	近景域	
5	根白石地区	約 50m	近景域	
6	清水田屋敷地区	約 600m	近景域	
7	市道川向堂所線	約 1,500m	中景域	
8	西田中地区	約 1,000m	中景域	
9	露払地区	約 1,100m	中景域	
10	屏風岳	約 3,300m	遠景域	
11	主要地方道泉塩釜線【鼻毛橋】	約 1,000m	近景域	周辺道路
12	国道 457 号【田中地区】	約 1,100m	中景域	
13	市道荒巻根白石線【実沢大橋】	約 2,000m	遠景域	
14	主要地方道泉塩釜線【泉 PA 付近】	約 3,000m	遠景域	
15	国道 457 号【新塩沢橋】	約 3,700m	遠景域	

※1：近景域：対象事業計画地敷地境界より半径 1,000m 程度までの範囲

※2：中景域：対象事業計画地敷地境界より半径 1,000m～1,500m 程度までの範囲

※3：遠景域：対象事業計画地敷地境界より半径 1,500m を超える範囲

(4) 調査期間

ア 既存文献調査

調査期間は、限定しないものとした。

イ 現地調査

調査期間は、表 8.10-4に示すとおりとした。

表 8.10-4 調査期間（景観：現地調査）

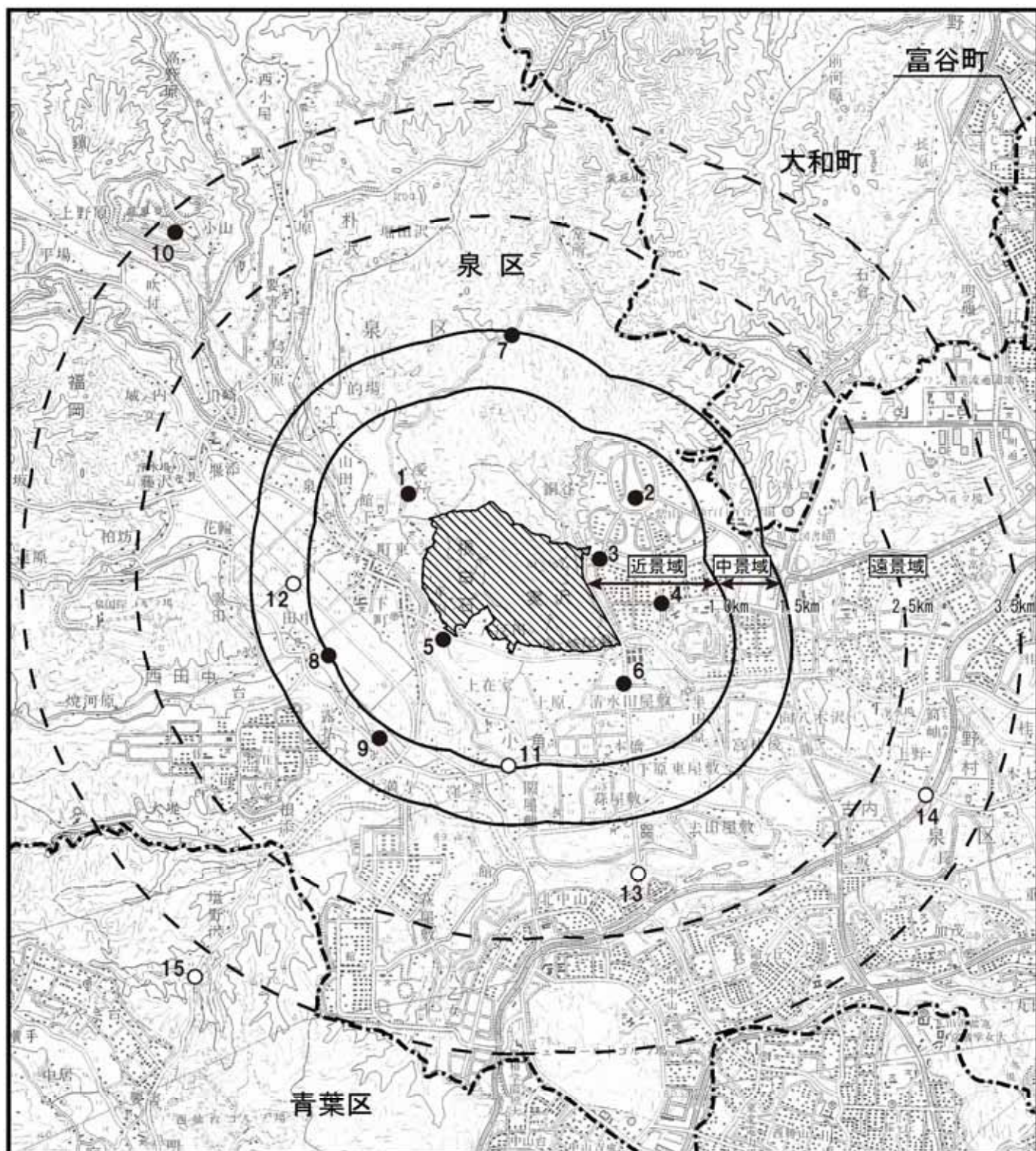
調査内容	季節	調査期間
1. 主要な眺望地点の状況	春季	平成 26 年 5 月 3 日(土)～5 月 7 日(水) ※ ¹ 平成 27 年 5 月 22 日(金) ※ ⁴
	夏季	平成 26 年 8 月 24 日(日) ※ ¹ 平成 27 年 8 月 19 日(水) ※ ⁴
	秋季	平成 26 年 11 月 4 日(火)～11 月 5 日(水) ※ ¹ 平成 27 年 11 月 11 日(水) ※ ⁴
	冬季	平成 26 年 2 月 11 日(火)～2 月 13 日(木) ※ ² 平成 27 年 2 月 2 日(火) ※ ³ 平成 28 年 1 月 19 日(火) ※ ⁴

※1：地点 1～地点 3，地点 5～地点 15 の 14 地点の調査実施日





※2：地点 1～地点 3，地点 5～地点 13 の 12 地点の調査実施日

※3：地点 14 及び地点 15 の 2 地点の調査実施日

※4：地点 4 の 1 地点の調査実施日



凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 市区境界線
-  : 景観（眺望）調査・予測地点（1～10）
-  : 景観（周辺道路）調査・予測地点（11～15）



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

図 8.10-1
景観調査地域（現地調査）

(5) 調査結果

ア 既存文献調査及び現地調査

① 主要な眺望地点の状況

主要な眺望地点は、表 8.10-5及び図 8.10-1に示すとおりである。

近景域として、愛宕地区、紫山公園、寺岡地区、寺岡地区_住宅地内、根白石地区、清水田屋敷地区及び主要地方道泉塩釜線【鼻毛橋】の7地点からの眺望の状況を把握した。

中景域として、市道川向堂所線、西田中地区、露払地区及び国道457号【田中地区】の4地点からの眺望の状況を把握した。

遠景域として、屏風岳、市道荒巻根白石線【実沢大橋】、主要地方道泉塩釜線【泉PA付近】及び国道457号【新塩沢橋】の4地点からの眺望の状況を把握した。

これらの眺望地点の状況及び眺望景観の状況は、表 8.10-6(1)～(15)に示すとおりである。

表 8.10-5 主要な眺望地点の区分

地点番号	調査地点（眺望地点）	区分	
1	愛宕地区	近景域	眺望地点
2	紫山公園	近景域	
3	寺岡地区	近景域	
4	寺岡地区_住宅地内	近景域	
5	根白石地区	近景域	
6	清水田屋敷地区	近景域	
7	市道川向堂所線	中景域	
8	西田中地区	中景域	
9	露払地区	中景域	
10	屏風岳	遠景域	
11	主要地方道泉塩釜線【鼻毛橋】	近景域	周辺道路
12	国道457号【田中地区】	中景域	
13	市道荒巻根白石線【実沢大橋】	遠景域	
14	主要地方道泉塩釜線【泉PA付近】	遠景域	
15	国道457号【新塩沢橋】	遠景域	

表 8.10-6(1) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点1：愛宕地区）


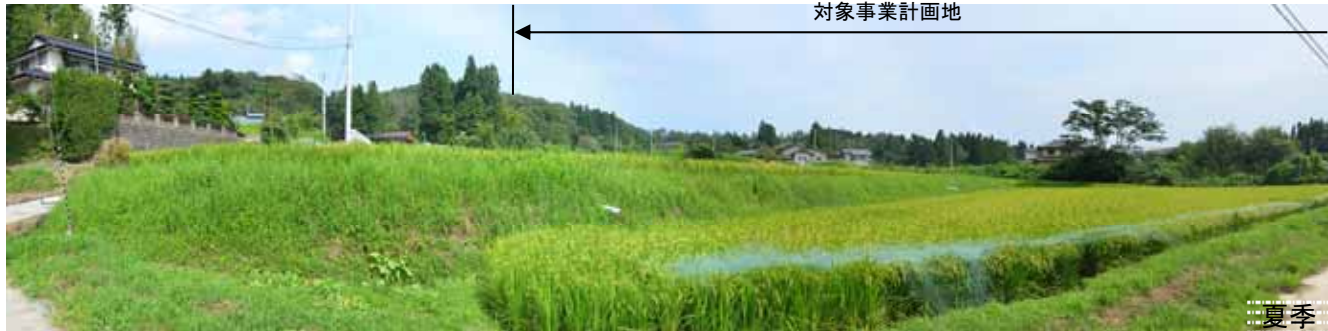


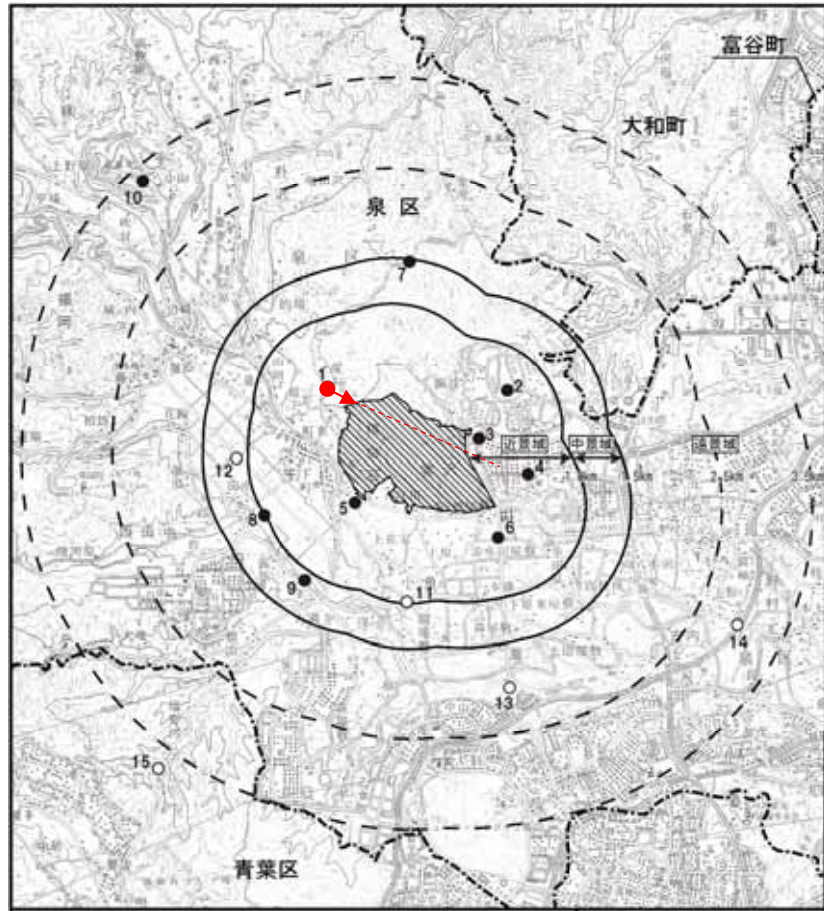
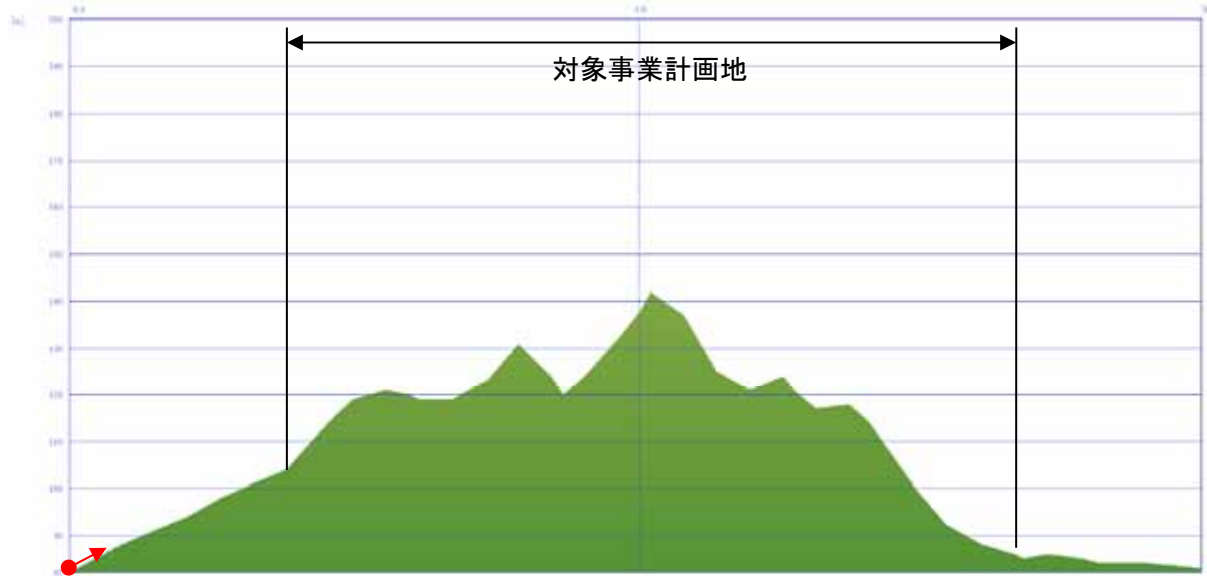




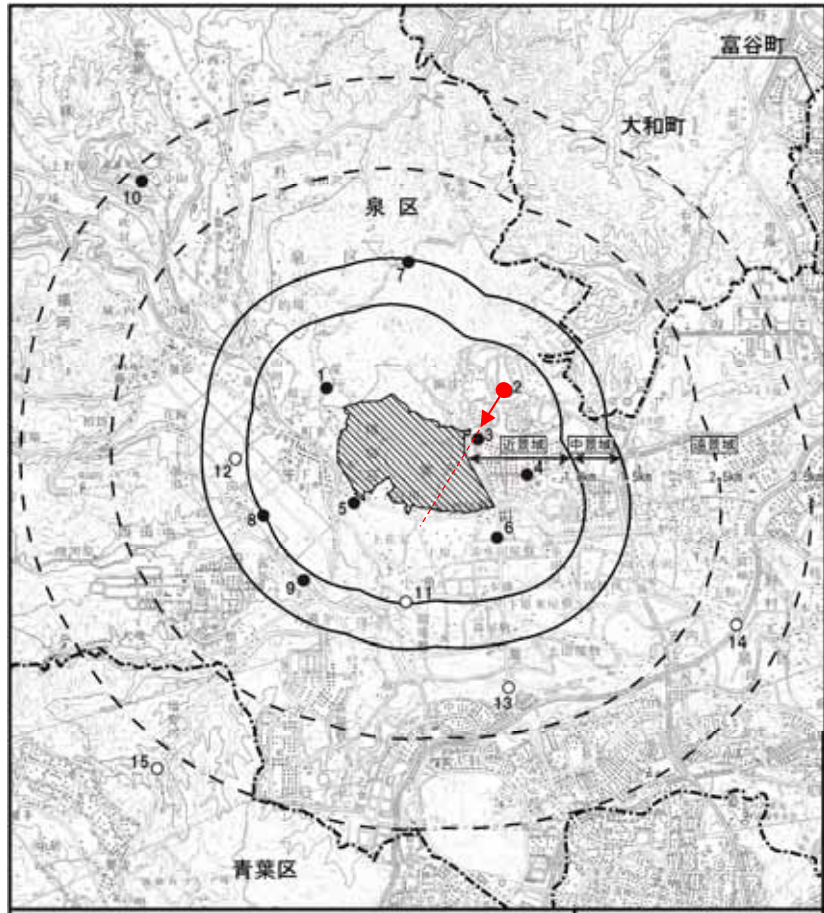
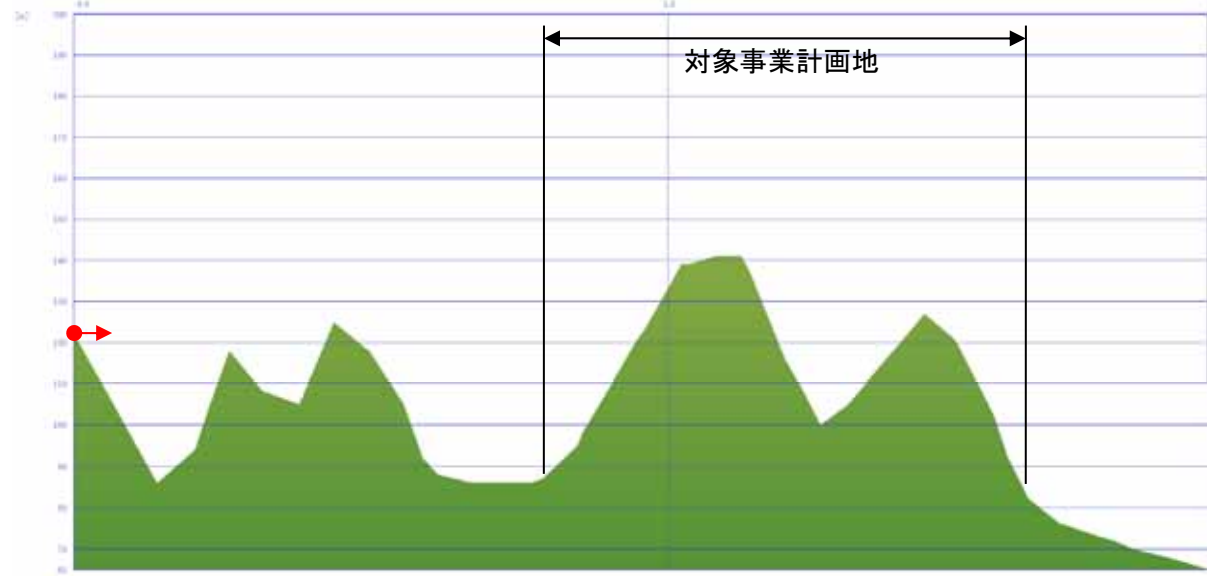




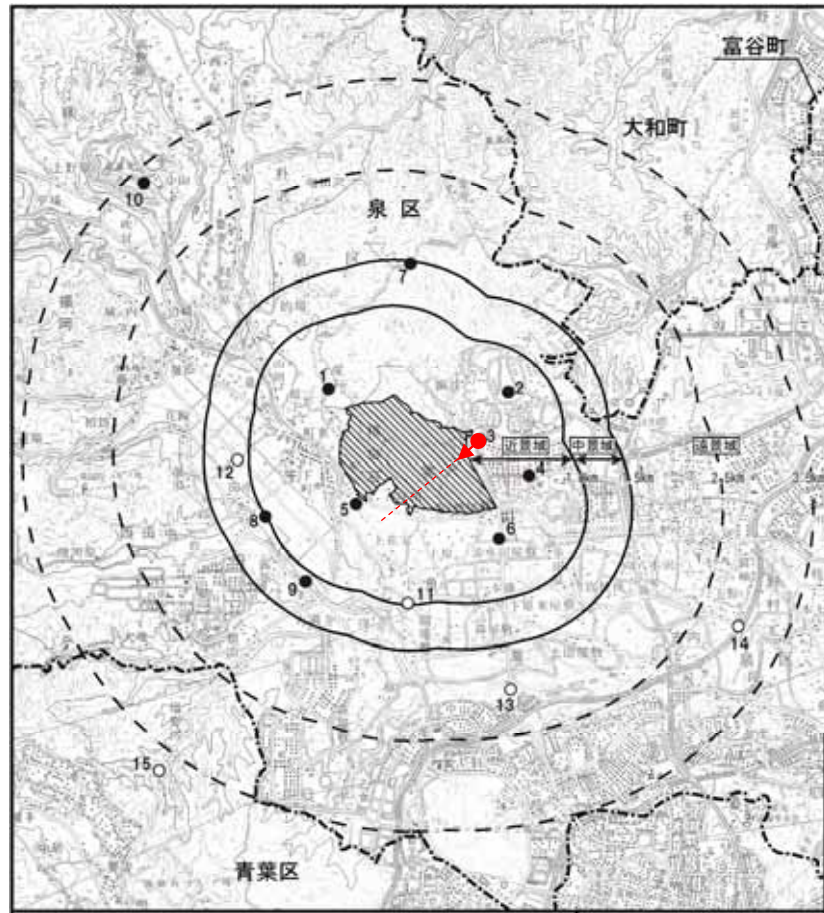
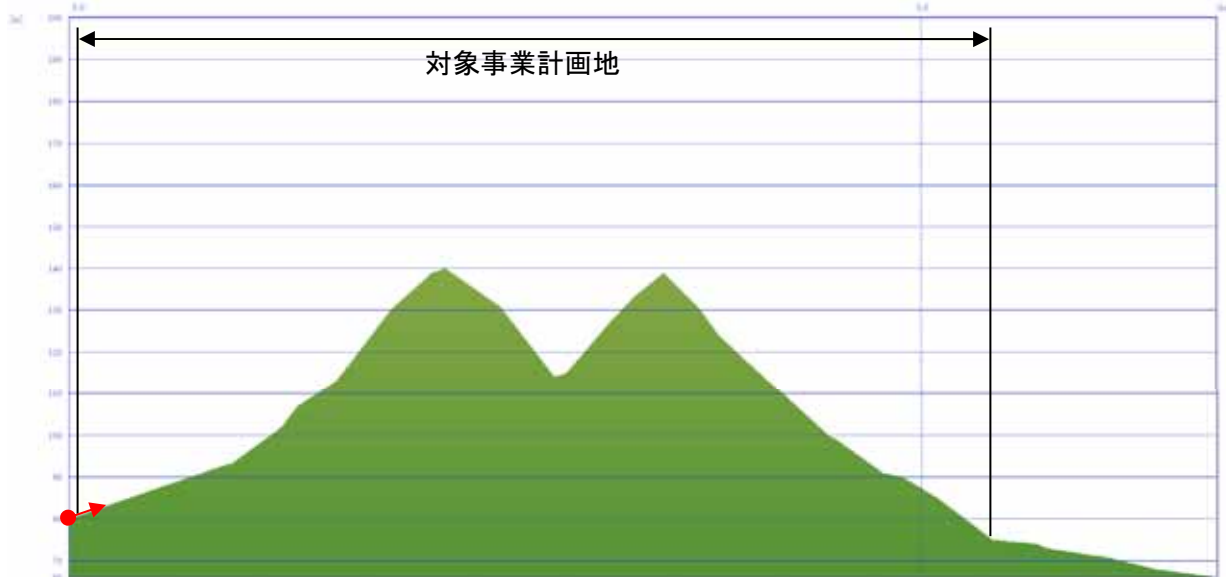
調査地点		地点1：愛宕地区		
調査時期	春季（平成26年5月3日），夏季（平成26年8月24日），秋季（平成26年11月5日），冬季（平成26年2月13日）			
主要な眺望地点からの眺望の状況	<div><div><p>対象事業計画地</p><p>春季</p></div><div><p>対象事業計画地</p><p>夏季</p></div><div><p>対象事業計画地</p><p>秋季</p></div><div><p>対象事業計画地</p><p>冬季</p></div></div>			
	撮影地点		眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の北西，約400m地点に位置する。
			眺望地点の利用状況	主に地域住民が，生活の場，稲作，通学路として利用している。
			眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は，目前に水田，住宅，樹木等が視認され，全体に田園風景が広がっている。眺望地点の標高が低いため住宅や樹林により，対象事業計画地の一部が遮られる。
概略地形断面図 （縮尺：任意）				

表 8.10-6(2) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点2：紫山公園）

調査地点	地点 2：紫山公園		
調査時期	春季（平成 26 年 5 月 3 日）、夏季（平成 26 年 8 月 24 日）、秋季（平成 26 年 11 月 5 日）、冬季（平成 26 年 2 月 11 日）		
主要な眺望地点からの眺望の状況			
			
			
			
撮影地点		眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の北東、約 700m 地点に位置する。
		眺望地点の利用状況	主に地域住民が、遊具遊び、犬の散歩、ウォーキング、サッカーやキャッチボール、フリスビー等を利用しており、利用内容は多岐に渡っている。利用状況の詳細は、「8.11 自然との触れ合いの場 8.11.1 現況調査」を参照。
		眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は、目前に公園、住宅、対象事業計画地を一望できるほか、中山大観音がある泉区南中山地区まで望むことができる。紫山地区の住宅により対象事業計画地の一部が遮られるが、対象事業計画地東側の尾根をほぼ視認可能である。
		概略地形断面図 (縮尺：任意)	





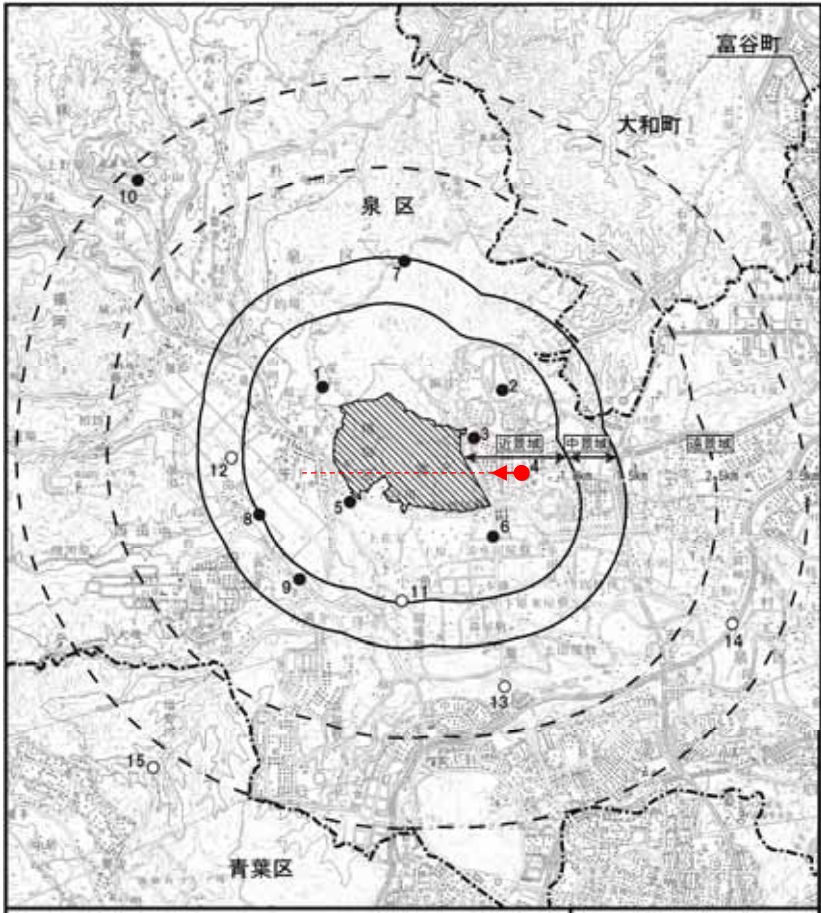
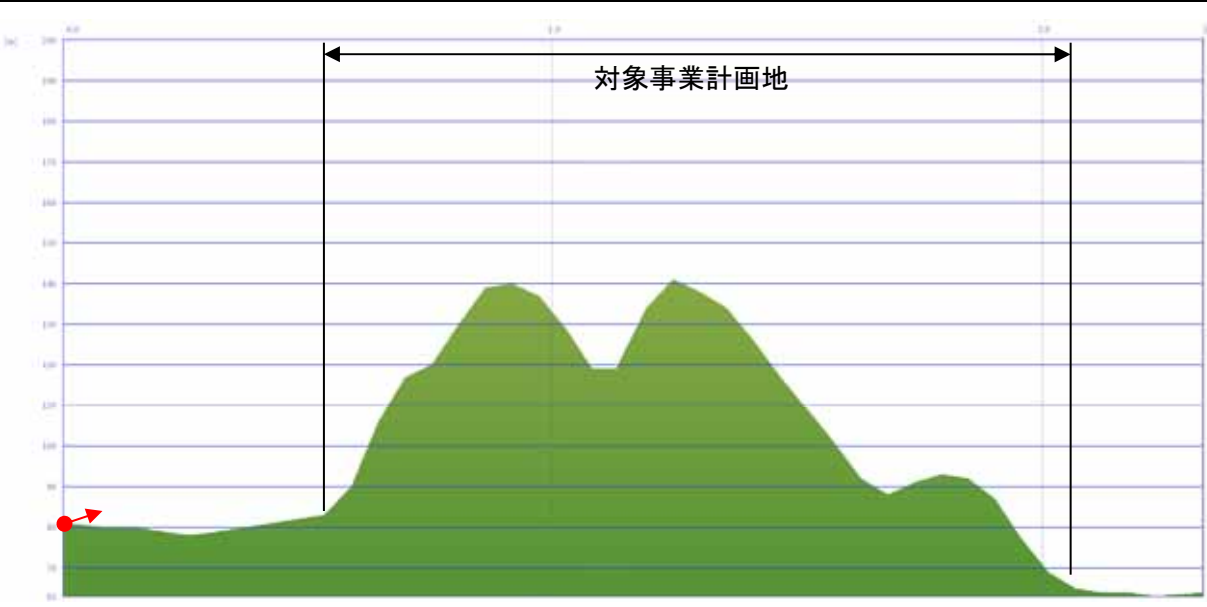
凡 例
←●→：撮影地点・方向

表 8.10-6(3) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点3：寺岡地区）

調査地点		地点3：寺岡地区	
調査時期	春季（平成26年5月3日）、夏季（平成26年8月24日）、秋季（平成26年11月5日）、冬季（平成26年2月11日）		
主要な眺望地点からの眺望の状況	<div><div><p>対象事業計画地</p><p>春季</p></div><div><p>対象事業計画地</p><p>夏季</p></div><div><p>対象事業計画地</p><p>秋季</p></div><div><p>対象事業計画地</p><p>冬季</p></div></div>		
	撮影地点	 <div><p>凡 例</p><p>◀●▶：撮影地点・方向</p></div>	眺望地点の位置
		眺望地点の利用状況	地域住民が生活の場として利用しているとともに、泉パークタウンの利用等で訪れる人が移動に利用している。現地調査時には、犬の散歩やウォーキング、ジョギングをする人も確認され、地域住民の散歩等のコースにもなっているようである。
		眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は、対象事業計画地の樹林地が広がっている。全体に眺望は開けており、対象事業計画地は目前に視認可能である。
		概略地形断面図 (縮尺：任意)	 <p>対象事業計画地</p>





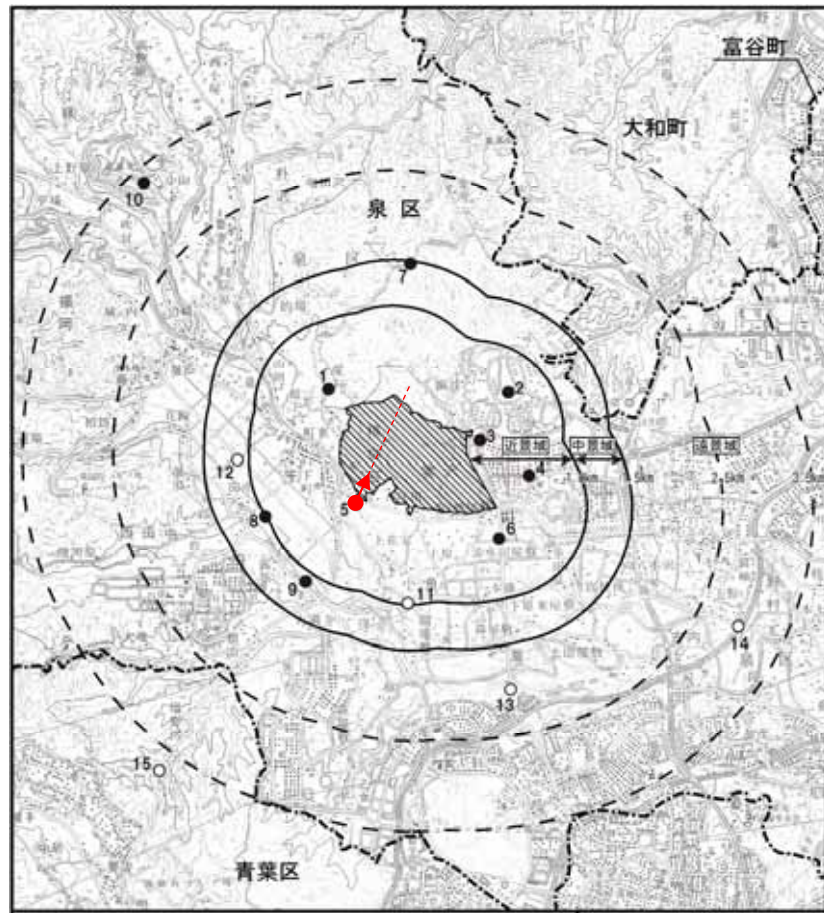
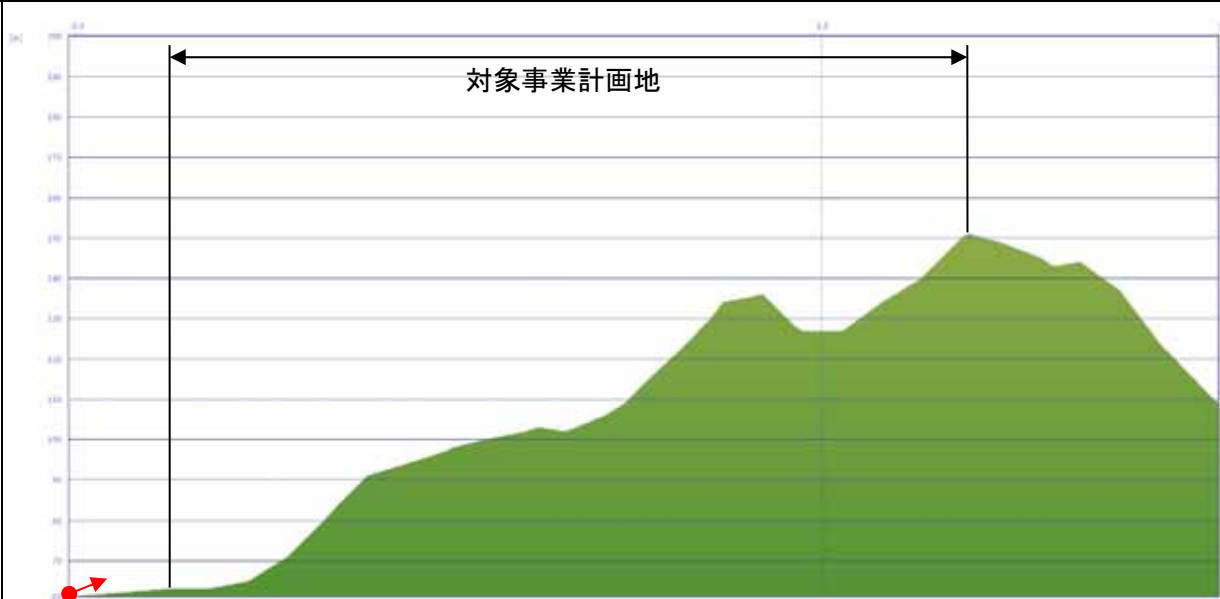
凡 例
◀●▶：撮影地点・方向

表 8.10-6(4) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点4：寺岡地区_住宅地内）

調査地点	地点4：寺岡地区_住宅地内			
調査時期	春季（平成27年5月22日）、夏季（平成27年8月19日）、秋季（平成27年11月11日）、冬季（平成28年1月19日）			
主要な眺望地点からの眺望の状況	<div><div>対象事業計画地</div><div>春季</div></div> <div><div>対象事業計画地</div><div>夏季</div></div> <div><div>対象事業計画地</div><div>秋季</div></div> <div><div>対象事業計画地</div><div>冬季</div></div>			
撮影地点		眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の東、約500m地点に位置する。	
		眺望地点の利用状況	主に寺岡地区の地域住民が、生活の場として利用している。また、眺望地点直近には、寺岡小学校、寺岡中学校があり、児童・生徒の通学路になっている。	
		眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は、道路、宅地等が視認される。目の前の道路樹木により対象事業計画地のほとんどが遮られ、樹木の合間からその一部が視認できる程度である。	
		概略地形断面図 (縮尺：任意)		

凡 例
◀●▶ : 撮影地点・方向

表 8.10-6(5) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点5：根白石地区）

調査地点	地点 5：根白石地区		
調査時期	春季（平成 26 年 5 月 3 日），夏季（平成 26 年 8 月 24 日），秋季（平成 26 年 11 月 5 日），冬季（平成 26 年 2 月 11 日）		
主要な眺望 地点からの 眺望の状況	<div><div><p>対象事業計画地</p><p>春季</p></div><div><p>対象事業計画地</p><p>夏季</p></div><div><p>対象事業計画地</p><p>秋季</p></div><div><p>対象事業計画地</p><p>冬季</p></div></div>		
撮影地点	 <div><p>凡 例</p><p>◀●▶：撮影地点・方向</p></div>	眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の南西，約 50m 地点に位置する。
		眺望地点の利用状況	主に地域住民が，生活の場，稲作として利用している。
		眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は，対象事業計画地や市道桐ヶ崎年川線沿線の住宅，水田が視認され，全体に田園風景が広がっている。道路沿線の住宅により対象事業計画地の山裾付近は遮られるが，対象事業計画地の西側の尾根をほぼ視認可能である。
		概略地形断面図 （縮尺：任意）	

凡 例
●→：撮影地点・方向

表 8.10-6(6) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点6：清水田屋敷地区）





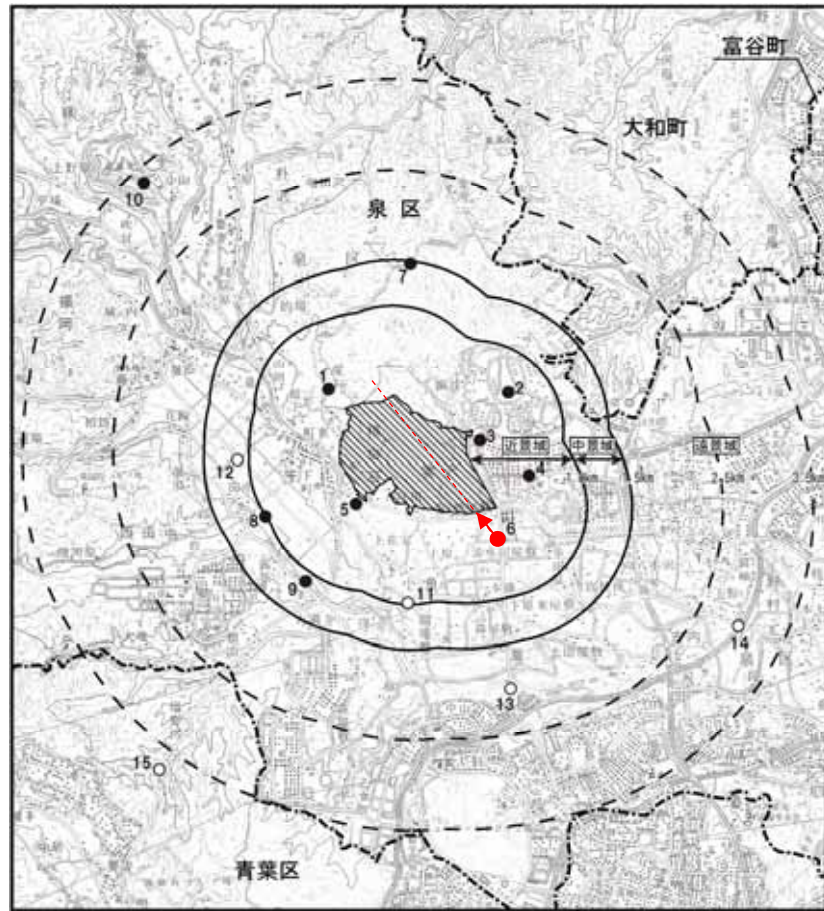
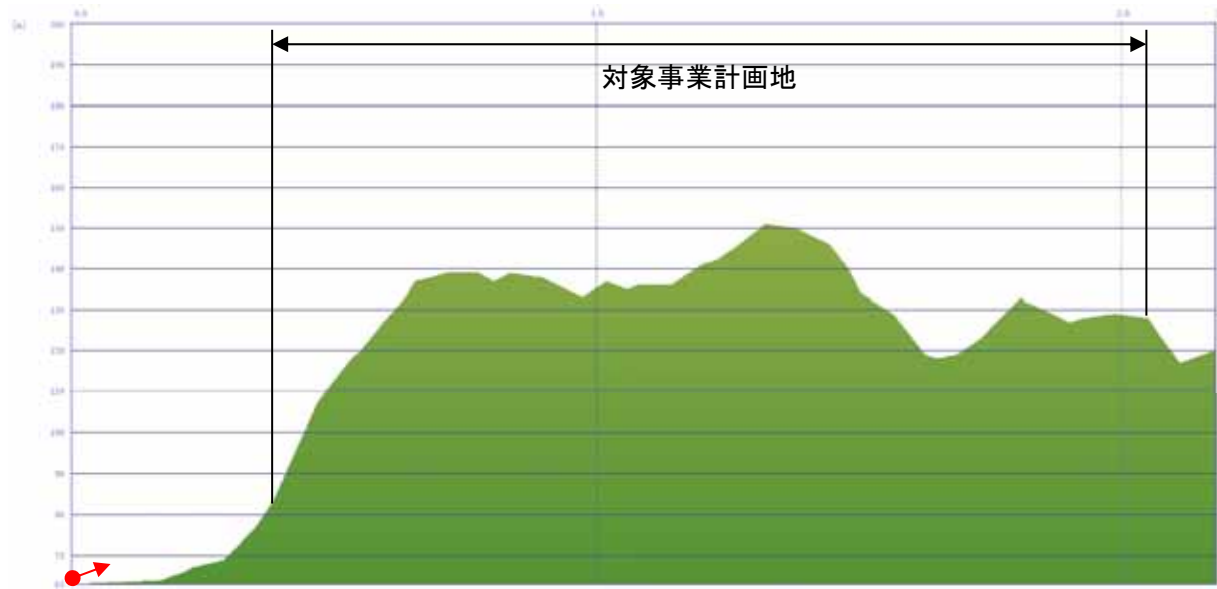
調査地点	地点 6：清水田屋敷地区		
調査時期	春季（平成 26 年 5 月 3 日）、夏季（平成 26 年 8 月 24 日）、秋季（平成 26 年 11 月 5 日）、冬季（平成 26 年 2 月 11 日）		
主要な眺望 地点からの 眺望の状況	<div><div><div>対象事業計画地</div><div>春季</div></div><div><div>対象事業計画地</div><div>夏季</div></div><div><div>対象事業計画地</div><div>秋季</div></div><div><div>対象事業計画地</div><div>冬季</div></div></div>		
撮影地点	 <div><div>富谷町</div><div>大和町</div><div>泉 区</div><div>近景城</div><div>中景城</div><div>遠景城</div><div>10</div><div>12</div><div>8</div><div>5</div><div>9</div><div>11</div><div>13</div><div>14</div><div>15</div><div>青葉区</div></div> <div><div>凡 例</div><div>◀●▶：撮影地点・方向</div></div>	<div>眺望地点の位置</div> <div>眺望地点の利用状況</div> <div>眺望地点の眺望特性</div> <div>概略地形断面図 （縮尺：任意）</div>	<div>眺望地点は対象事業計画地の南東、約 600m 地点に位置する。</div> <div>周辺は水田が広がり、田植え時期や収穫時期に農業従事者が多数利用している。また、市道荒巻根白石線は泉パークタウン方向と南中山方向を南北に移動する人の通過に利用されている。</div> <div>眺望地点からの景観は、周囲に遮蔽物がほとんど無いため、対象事業計画地や宅地等、全方位を望むことができる。冬季の積雪時には視野の約半分が雪で占められる。対象事業計画地は、市道桐ヶ崎年川線沿線の住宅を裾野にして、対象事業計画地東側をほぼ視認することができる。</div> <div><div>対象事業計画地</div></div>

表 8.10-6(7) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点7：市道川向堂所線）





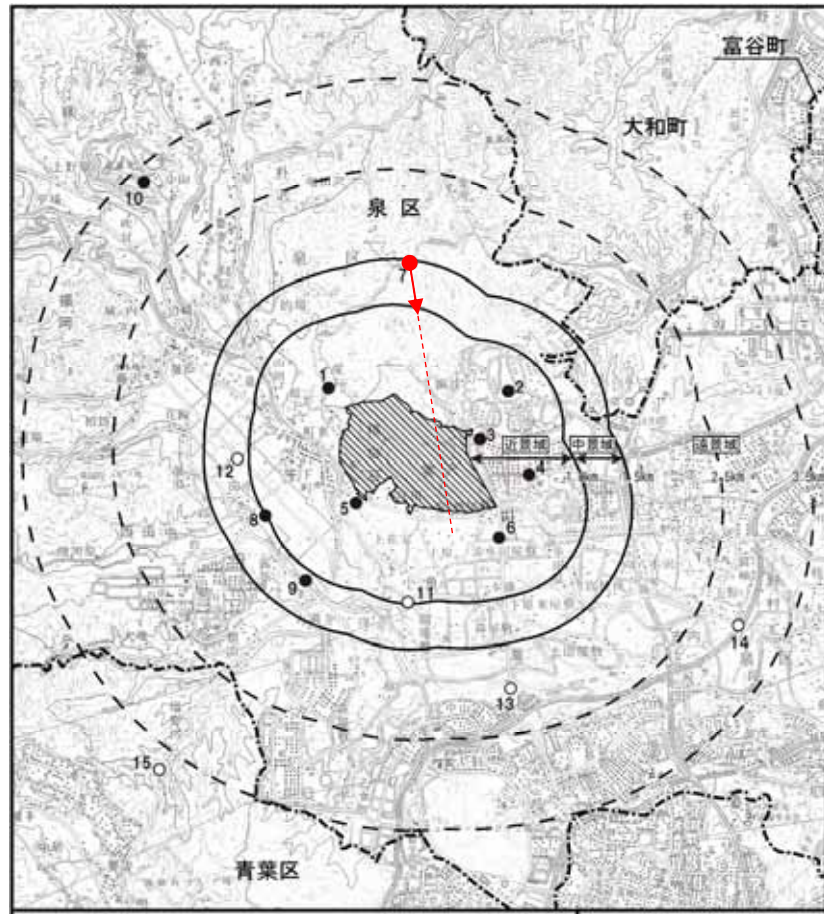
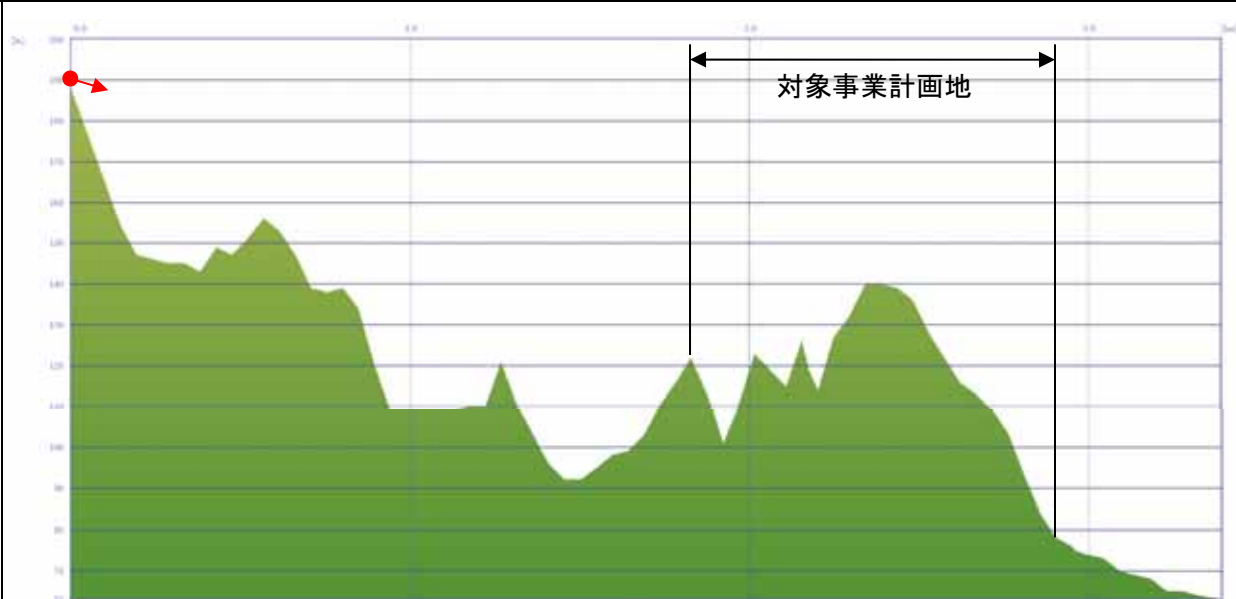
調査地点		地点 7：市道川向堂所線	
調査時期	春季（平成 26 年 5 月 7 日），夏季（平成 26 年 8 月 24 日），秋季（平成 26 年 11 月 4 日），冬季（平成 26 年 2 月 12 日）		
主要な眺望 地点からの 眺望の状況	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>		
撮影地点	<div></div> <div><div>凡 例</div><div>◀●▶：撮影地点・方向</div></div>	眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の北，約 1,500m地点に位置する。
		眺望地点の利用状況	主に根白石地区の中心部と根白石堂所地区を往来する住民が利用している。現地調査時は，車で数台の往来が確認された。
		眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は，樹木と樹木の合間から，対象事業計画地及びその北側の樹林地が一望できる。更には泉区南中山地区の中山大観音まで視認可能である。眺望地点の標高が高いため，対象事業計画地の東側を広く範囲に視認することができる。
		概略地形断面図 （縮尺：任意）	

表 8.10-6(8) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点8：西田中地区）




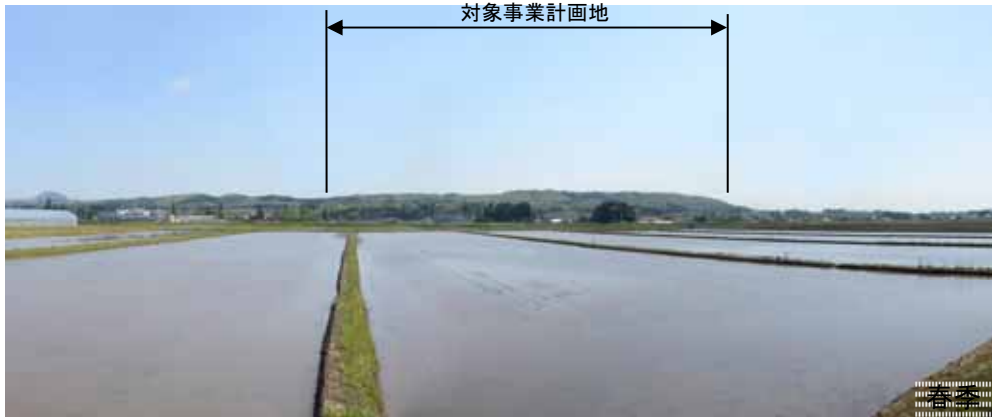
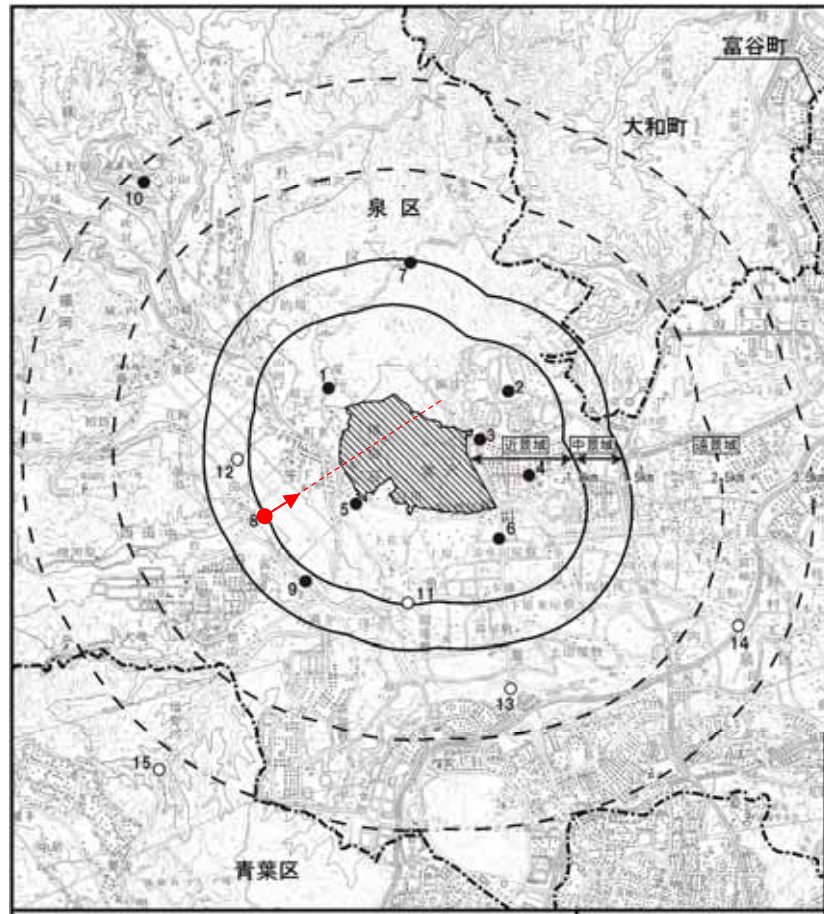
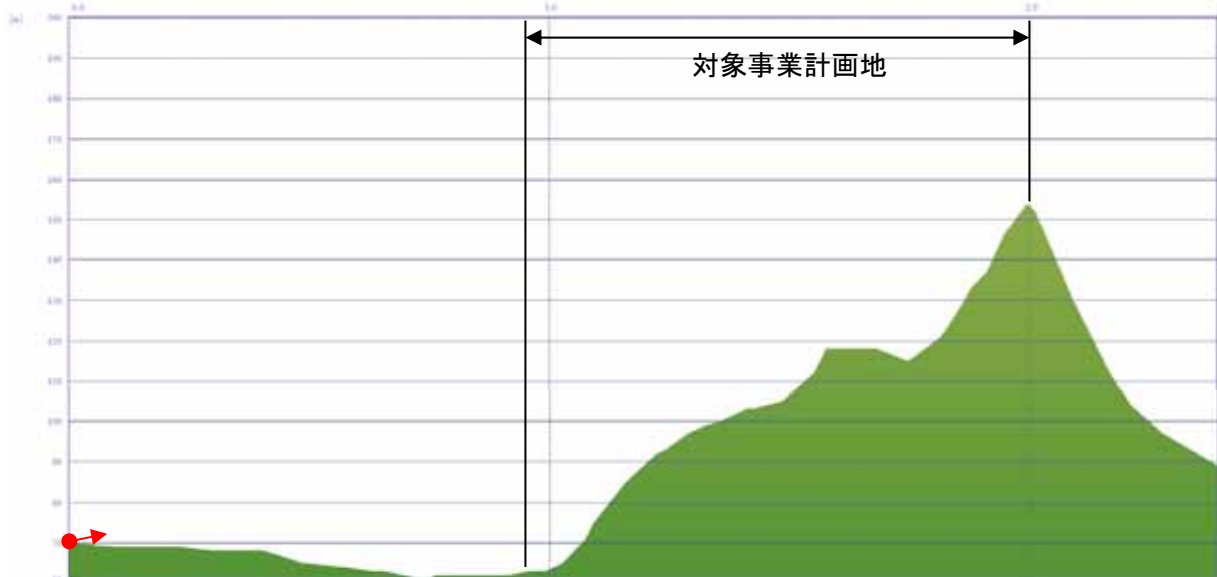




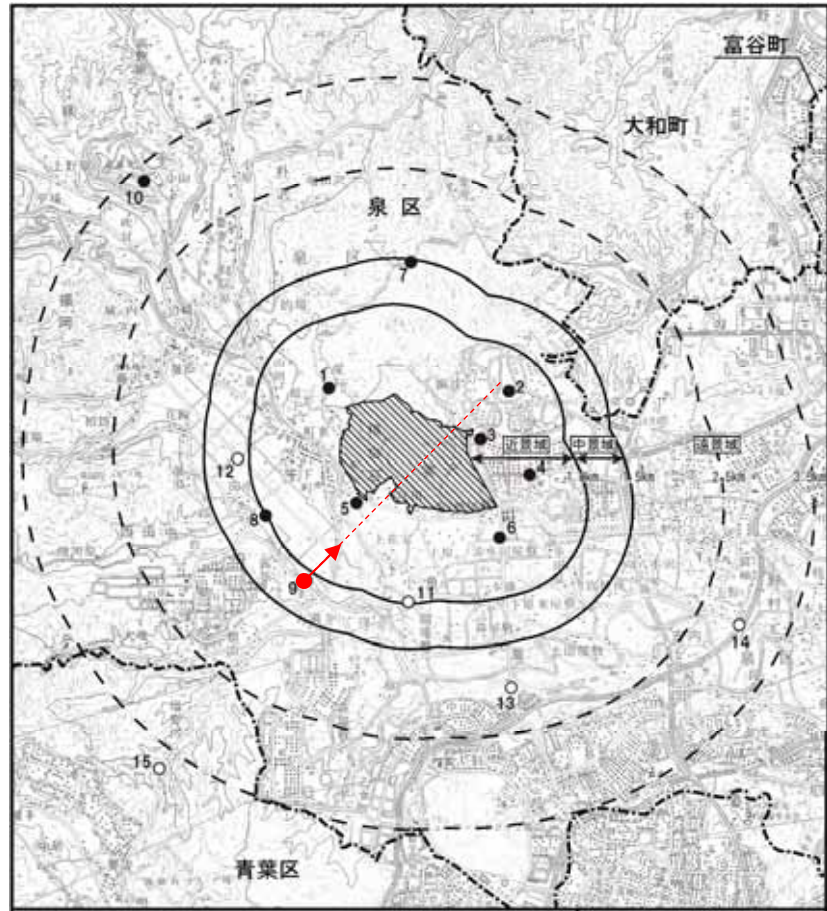
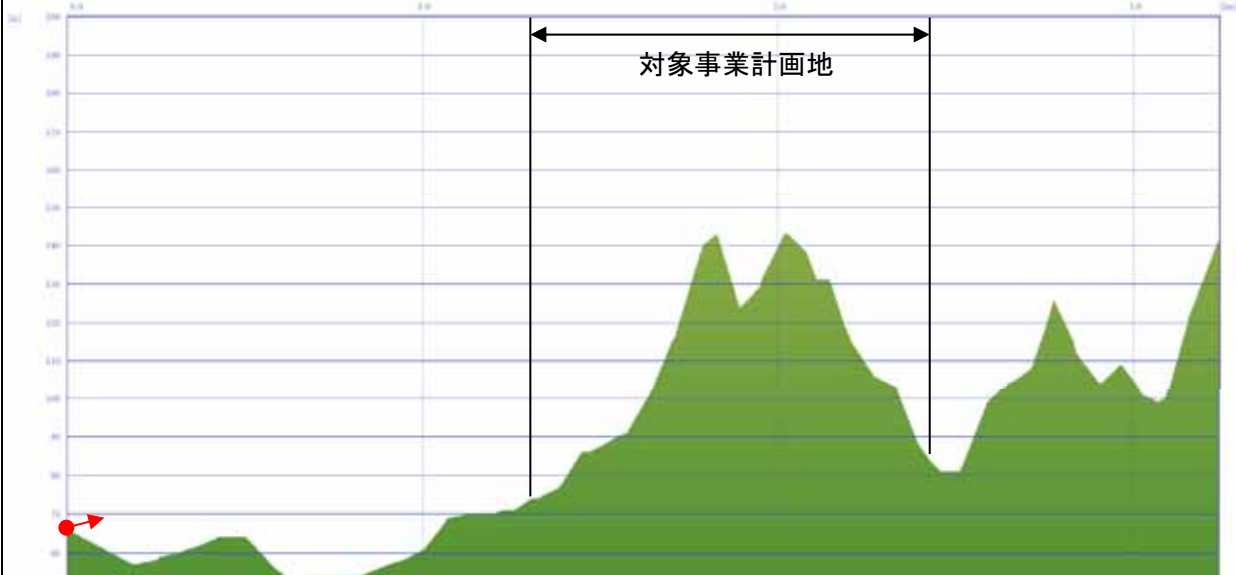




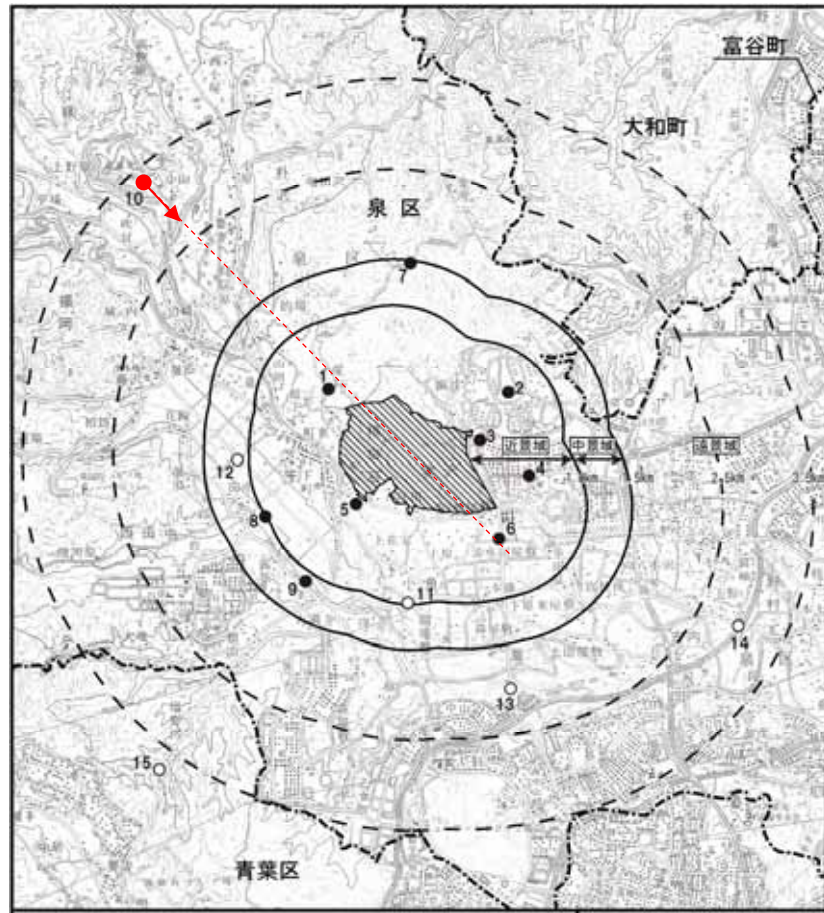
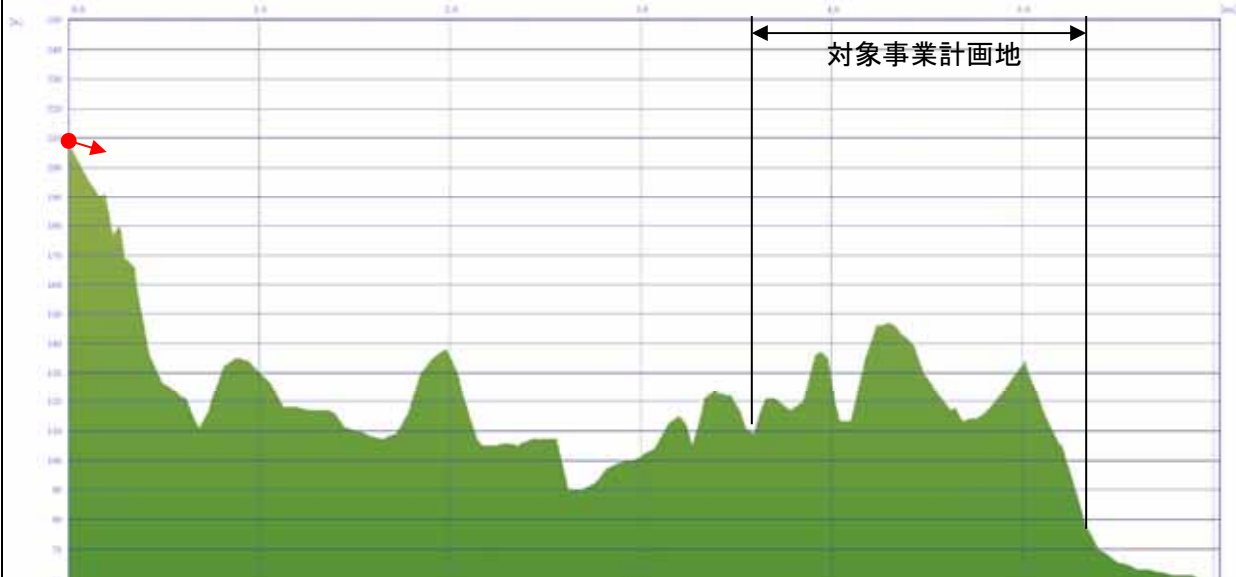
調査地点	地点 8：西田中地区		
調査時期	春季（平成 26 年 5 月 7 日），夏季（平成 26 年 8 月 24 日），秋季（平成 26 年 11 月 5 日），冬季（平成 26 年 2 月 11 日）		
主要な眺望 地点からの 眺望の状況	<div><div></div></div>		
撮影地点	<div><div><div>凡 例</div><div>●→：撮影地点・方向</div></div></div>	眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の西南西，約 1,000m 地点に位置する。
		眺望地点の利用状況	西田中地区の縁辺部で，周辺は水田が広がり田植え時期や収穫時期には農業従事者が多数利用している。一方で冬季は，休耕期でありほとんど人は確認されなかった。
		眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は，周囲に遮蔽物がほとんど無いため，対象事業計画地や根白石地区の宅地等，全方位を望むことができる。冬季の積雪時には視野の約半分が雪で占められる。対象事業計画地は，根白石地区の建物を裾野にして，対象事業計画地西側をほぼ視認することができる。
		概略地形断面図 （縮尺：任意）	<div></div>

表 8.10-6(9) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点9：露払地区）

調査地点		地点 9：露払地区	
調査時期	春季（平成 26 年 5 月 7 日），夏季（平成 26 年 8 月 24 日），秋季（平成 26 年 11 月 5 日），冬季（平成 26 年 2 月 13 日）		
主要な眺望 地点からの 眺望の状況	<div><div></div></div>		
撮影地点	 <div><div>凡 例</div><div>◀●▶：撮影地点・方向</div></div>	眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の南西，約 1,100m 地点に位置する。
		眺望地点の利用状況	主に地域住民と，露払地区及び住吉台地区と国道 457 号を往来する住民が利用している。現地調査時は，比較的多くの車の往来が確認された。
		眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は，目下に西田中川，水田，遠方に国道 457 号，対象事業計画地等が視認され全体に田園風景が広がっている。ただし，道路法面の樹木によりこれら眺望が遮られ，夏季に至っては樹木が展葉し，そのほとんどが遮られる。対象事業計画地は，道路法面の樹木により一部または全部が遮られる。
		概略地形断面図 （縮尺：任意）	

凡 例
◀●▶：撮影地点・方向

表 8.10-6(10) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点 10：屏風岳）

調査地点	地点 10：屏風岳		
調査時期	春季（平成 26 年 5 月 7 日），夏季（平成 26 年 8 月 24 日），秋季（平成 26 年 11 月 4 日），冬季（平成 26 年 2 月 11 日）		
主要な眺望 地点からの 眺望の状況	<div><div><div>対象事業計画地</div><div>春季</div></div><div><div>対象事業計画地</div><div>夏季</div></div><div><div>対象事業計画地</div><div>秋季</div></div><div><div>対象事業計画地</div><div>冬季</div></div></div>		
撮影地点	<div><div>富谷町</div><div>大和町</div><div>泉区</div><div>近江町</div><div>中津町</div><div>福原町</div><div>青葉区</div><div>15</div></div> <div>凡 例 ◀●▶：撮影地点・方向</div>	眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の北西，約 3,300m 地点に位置する。
		眺望地点の利用状況	利用者は，鷺倉神社の参拝者にほぼ限られる。現地調査時，参拝に訪れる人は確認されなかった。
		眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は，谷部に造られた道路の合間から，朴沢地区や根白石地区，対象事業計画地を遠方に望むことが出来る。晴天時には青葉区台原地区の建物の一部も視認出来る。対象事業計画地西側の一部を視認可能である。
		概略地形断面図 （縮尺：任意）	 <div>対象事業計画地</div>

凡 例
◀●▶：撮影地点・方向

表 8.10-6(11) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点 11：主要地方道泉塩釜線【鼻毛橋】）





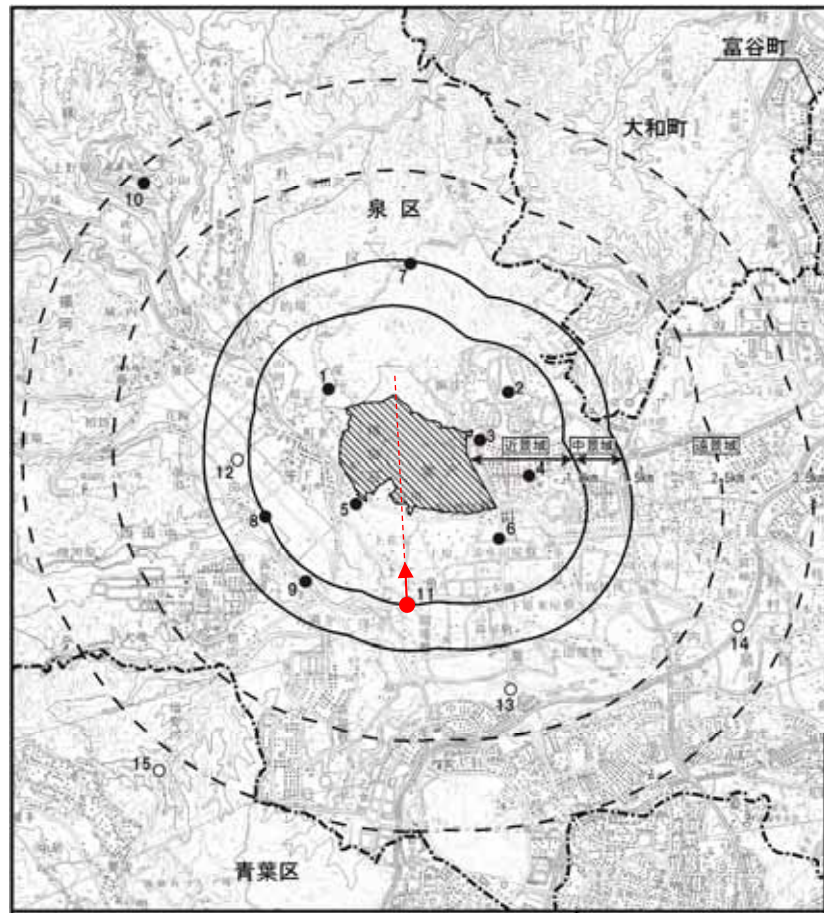
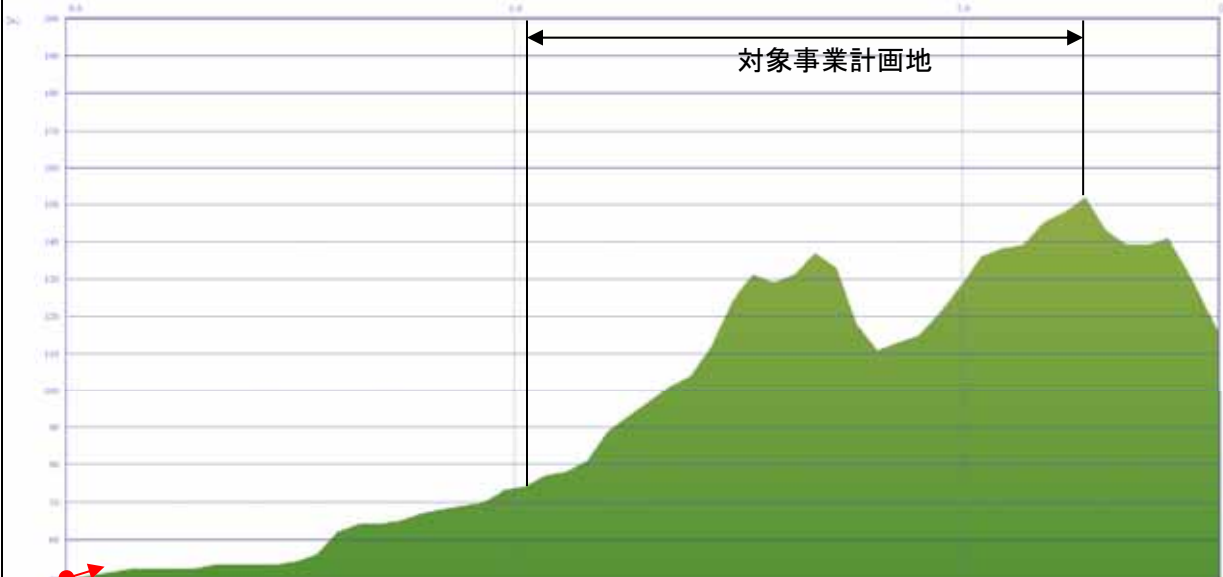
調査地点	地点 11：主要地方道泉塩釜線【鼻毛橋】		
調査時期	春季（平成 26 年 5 月 3 日），夏季（平成 26 年 8 月 24 日），秋季（平成 26 年 11 月 5 日），冬季（平成 26 年 2 月 11 日）		
主要な眺望地点からの眺望の状況	<div><div><p>対象事業計画地</p><p>春季</p></div><div><p>対象事業計画地</p><p>夏季</p></div><div><p>対象事業計画地</p><p>秋季</p></div><div><p>対象事業計画地</p><p>冬季</p></div></div>		
撮影地点	 <div><p>富谷町</p><p>大和町</p><p>泉区</p><p>近景城</p><p>中景城</p><p>遠景城</p><p>青葉区</p><p>凡 例</p><p>◀●▶：撮影地点・方向</p></div>	眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の南，約 1,000m 地点に位置する。
		眺望地点の利用状況	地域住民や、国道 457 号と泉パークタウン方向，泉中央方向を東西に移動する人の通過に利用されている。
		眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は，対象事業計画地を背後にして田園風景が広がっており，見通しの良い道路であるため車で走っていても周囲の風景を視認しやすい。冬季の積雪時には視野の約半分が雪で占められる。小角地区の樹林や家屋等に若干遮られるが，対象事業計画地は眺望地点より標高が高く，対象事業計画地南側の一部を視認可能である。
		概略地形断面図（縮尺：任意）	

表 8. 10-6(12) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点 12：国道 457 号【田中地区】）





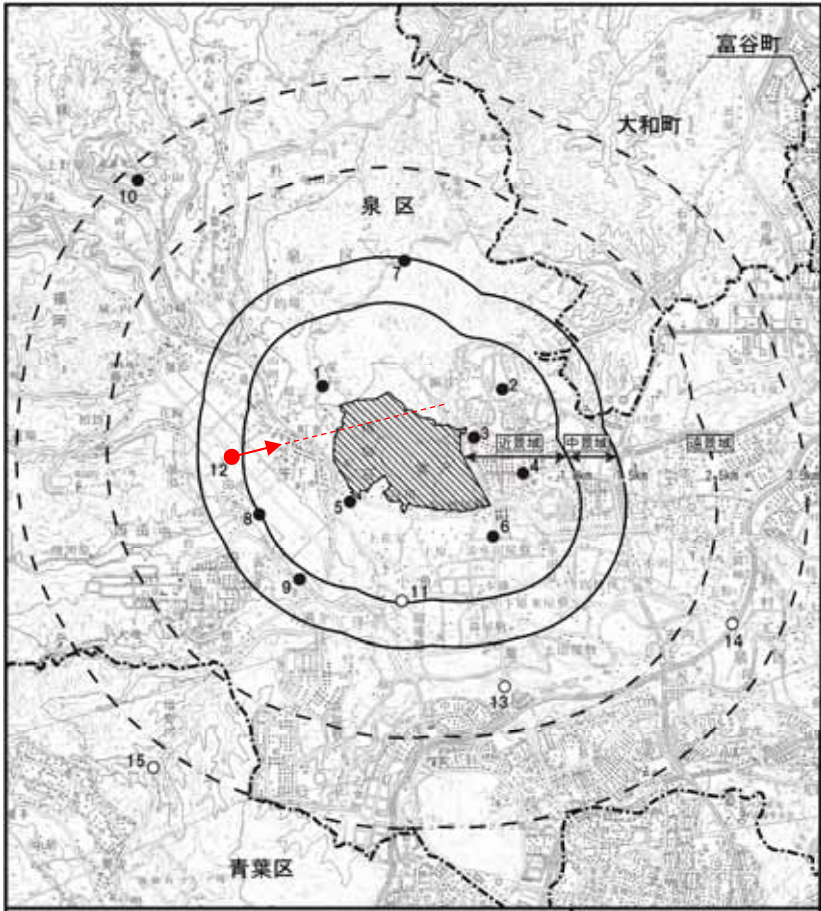
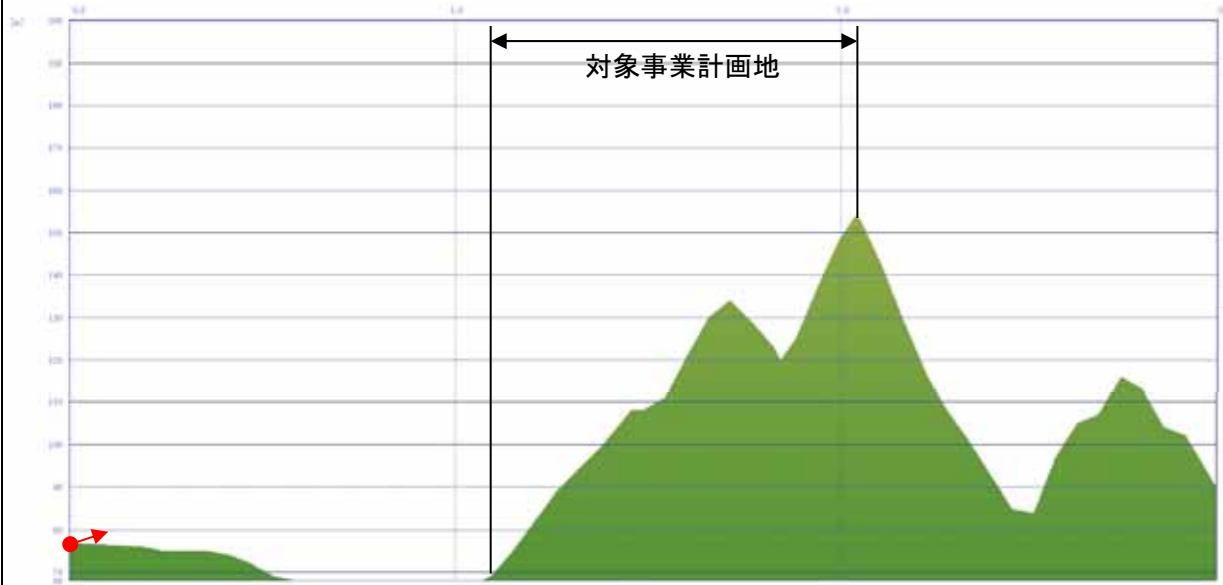




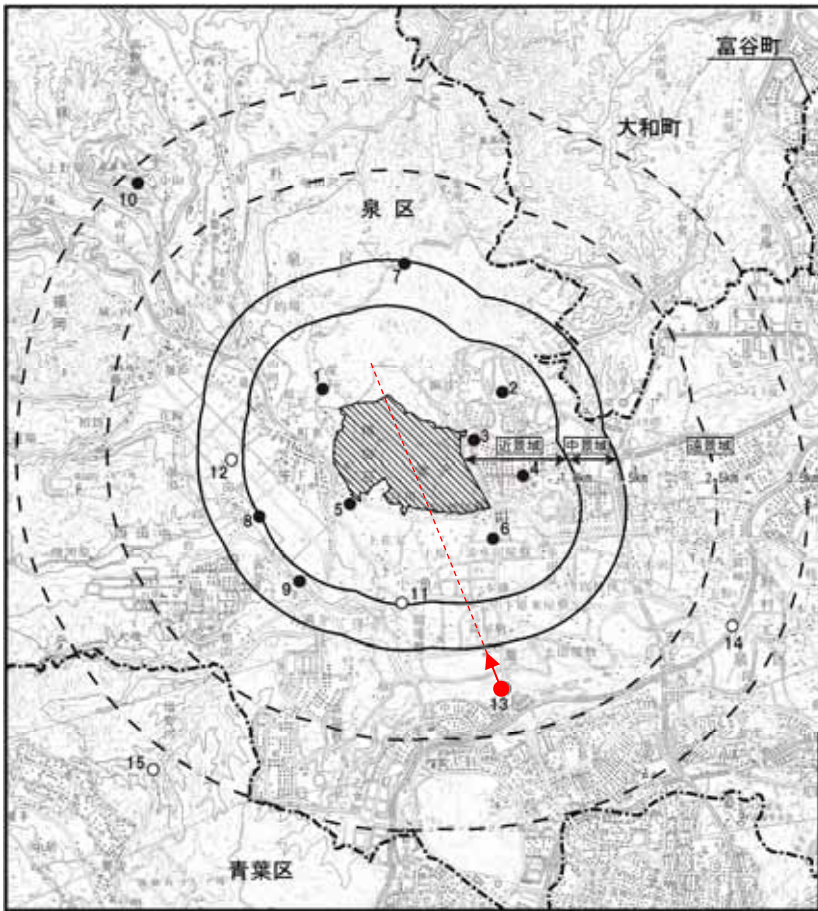

調査地点		地点 12：国道 457 号【田中地区】	
調査時期	春季（平成 26 年 5 月 7 日），夏季（平成 26 年 8 月 24 日），秋季（平成 26 年 11 月 5 日），冬季（平成 26 年 2 月 11 日）		
主要な眺望 地点からの 眺望の状況	<div><div></div><div>Each image includes a horizontal double-headed arrow labeled '対象事業計画地' (Target Project Area) indicating the distance to the project area.</div></div>		
撮影地点	 <div>凡 例 ◀●▶：撮影地点・方向</div>	眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の西，約 1,100m 地点に位置する。
		眺望地点の利用状況	地域住民や，大和町方向と青葉区愛子地区方向を南北に移動する人の通過に利用されている。また，周辺は水田が広がり，田植え時期や収穫時期に農業従事者が多数利用している。
		眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は，対象事業計画地を背後にして田園風景が広がり，見通しの良い直線道路であるため，車で走っていても周囲の景色を視認しやすい。対象事業計画地は，眺望地点より標高が高く，対象事業計画地西側をほぼ視認可能である。
		概略地形断面図 （縮尺：任意）	

表 8.10-6(13) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点 13：市道巻根白石線【実沢大橋】）

調査地点	地点 13：市道荒巻根白石線【実沢大橋】		
調査時期	春季（平成 26 年 5 月 3 日），夏季（平成 26 年 8 月 24 日），秋季（平成 26 年 11 月 5 日），冬季（平成 26 年 2 月 11 日）		
主要な眺望 地点からの 眺望の状況	<div><div><div>対象事業計画地</div><div>春季</div></div><div><div>対象事業計画地</div><div>夏季</div></div><div><div>対象事業計画地</div><div>秋季</div></div><div><div>対象事業計画地</div><div>冬季</div></div></div>		
撮影地点	<div><div>富谷町</div><div>大和町</div><div>泉 区</div><div>青葉区</div><div>10</div><div>12</div><div>8</div><div>5</div><div>9</div><div>11</div><div>13</div><div>14</div><div>15</div></div> <div><div>凡 例</div><div>◀●▶：撮影地点・方向</div></div>	眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の南南東，約 2,000m地点に位置する。
	眺望地点の利用状況	地域住民や，泉パークタウン方向と泉区南中山方向を南北に移動する人の通過に利用されている。	
	眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は，青葉区中山地区から泉区実沢地区へ進行する場合は下り坂となり，周辺の標高が低いため，見通しが良く，晴天時には泉ヶ岳も望むことが出来る。対象事業計画地は，実沢地区や小角地区の田園風景を裾野にして，概ね全域を視認することができる。	
	概略地形断面図 （縮尺：任意）	<div><div>対象事業計画地</div></div>	

凡 例
◀●▶：撮影地点・方向

表 8.10-6(14) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点 14：主要地方道泉塩釜線【泉 PA 付近】）





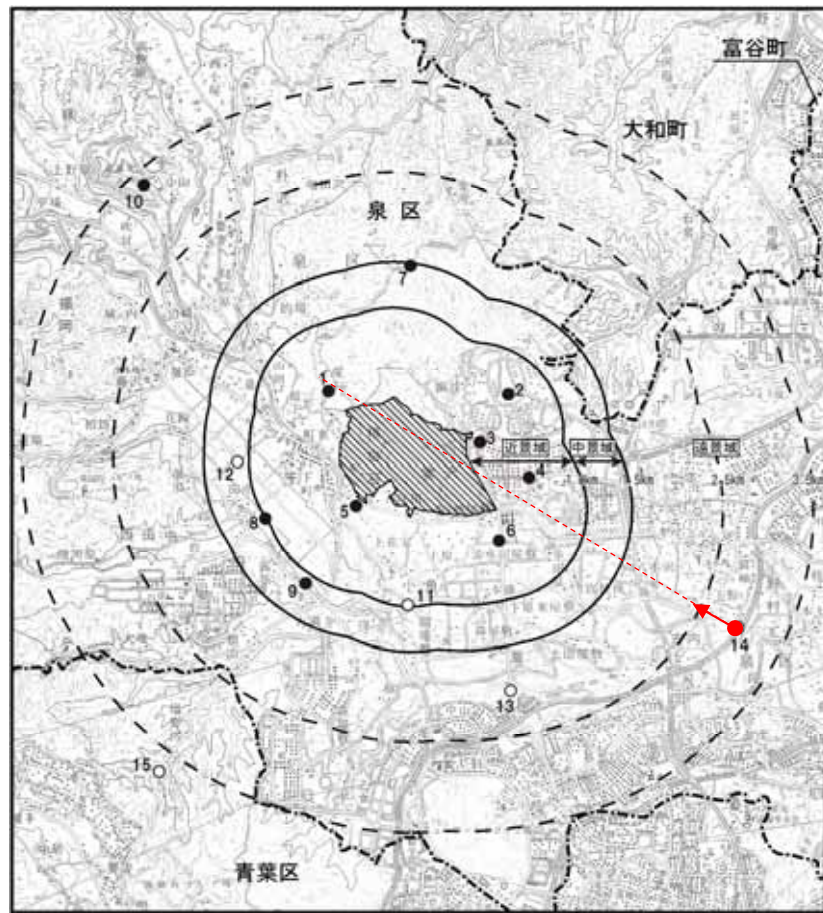
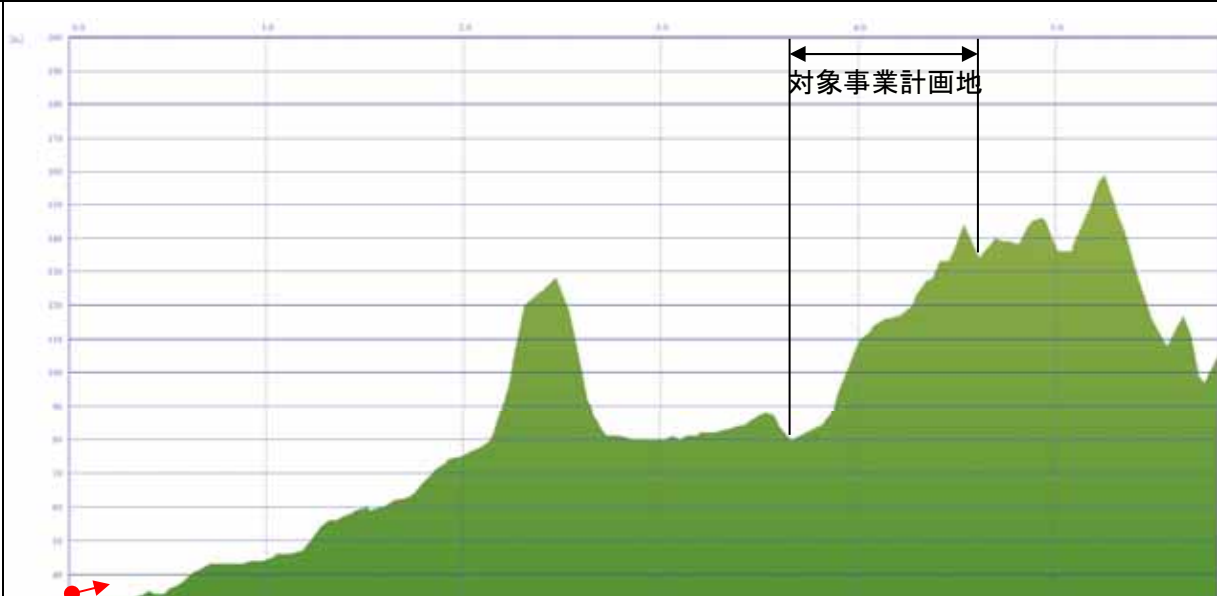




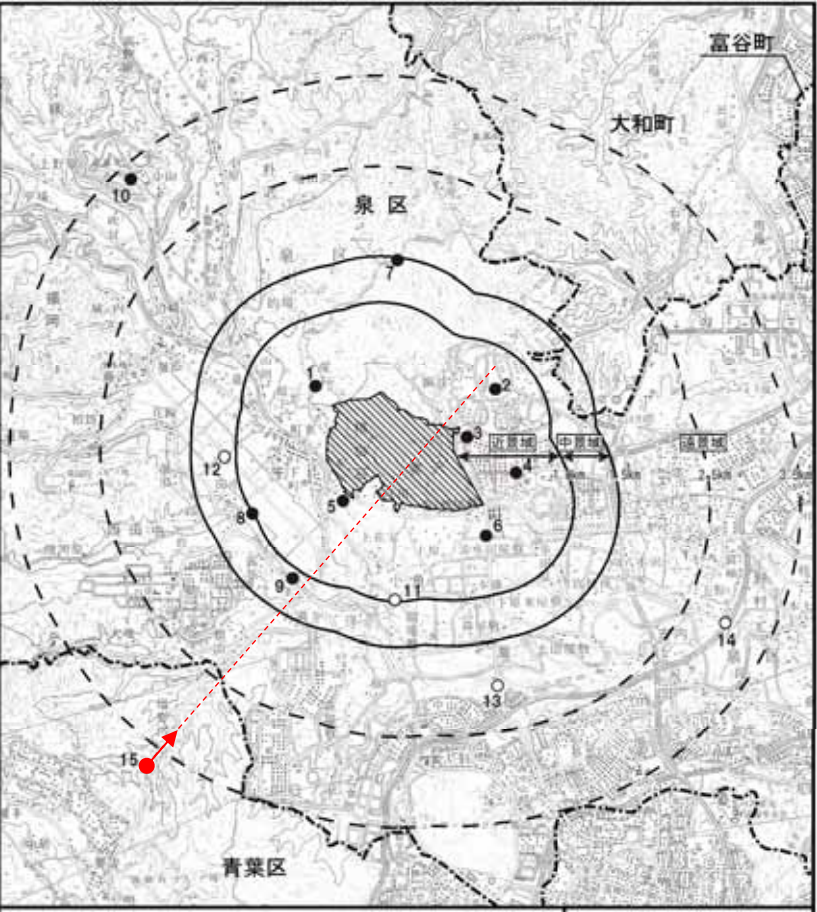
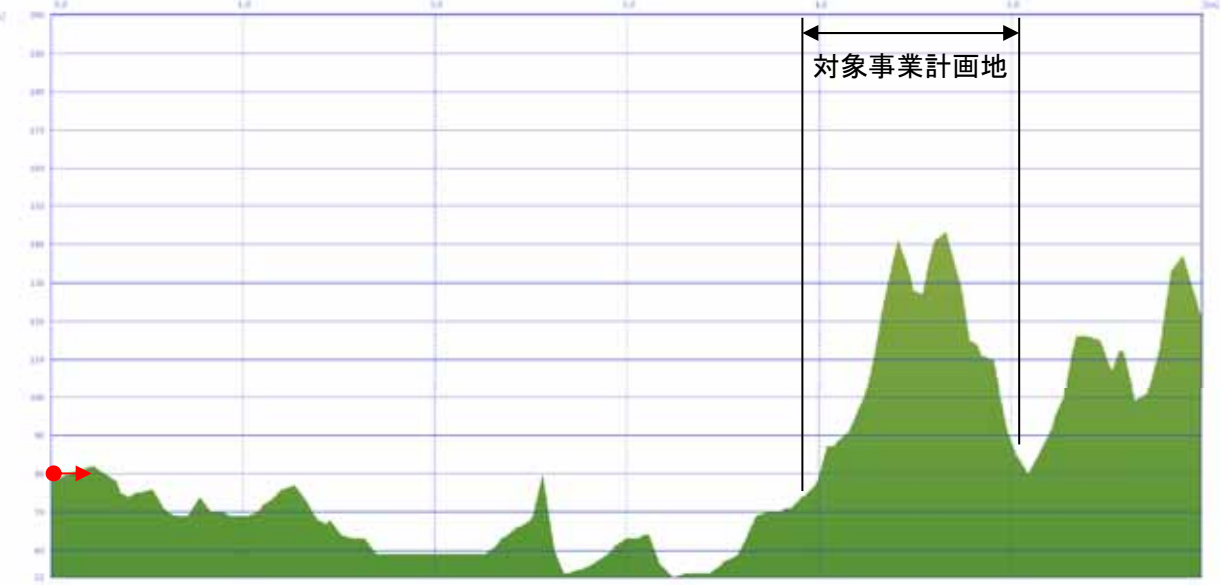
調査地点	地点 14：主要地方道泉塩釜線【泉 PA 付近】		
調査時期	春季（平成 26 年 5 月 3 日），夏季（平成 26 年 8 月 24 日），秋季（平成 26 年 11 月 5 日），冬季（平成 27 年 2 月 2 日）		
主要な眺望地点からの眺望の状況	<div><div><p>春季</p></div><div><p>夏季</p></div><div><p>秋季</p></div><div><p>冬季</p></div></div>		
撮影地点	<div><div><p>凡 例</p><p>●→：撮影地点・方向</p></div></div>	眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の東南東、約 3,000m 地点に位置する。
		眺望地点の利用状況	地域住民や、泉パークタウン方向と泉中央方向を東西に移動する人の通過に利用されている。また、東北自動車道の泉 PA（スマートインターチェンジ）の位置であり、東北自動車道の乗降にも利用される地点である。
		眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は、樹木に囲まれているため、遠方の標高の高い山地の一部を除き、遠方の稜線は視認できない。対象事業計画地は、手前の樹木に遮られ視認することができない。
		概略地形断面図 （縮尺：任意）	

表 8.10-6(15) 眺望地点の状況及び眺望景観の状況（地点 15：国道 457 号【新塩沢橋】）

調査地点	地点 15：国道 457 号【新塩沢橋】		
調査時期	春季（平成 26 年 5 月 7 日）、夏季（平成 26 年 8 月 24 日）、秋季（平成 26 年 11 月 5 日）、冬季（平成 27 年 2 月 2 日）		
主要な眺望地点からの眺望の状況	<div data-bbox="314 457 943 848"><p>対象事業計画地</p><p>春季</p></div> <div data-bbox="955 457 1567 848"><p>対象事業計画地</p><p>夏季</p></div> <div data-bbox="1578 457 2178 848"><p>対象事業計画地</p><p>秋季</p></div> <div data-bbox="2190 457 2813 848"><p>対象事業計画地</p><p>冬季</p></div>		
撮影地点	<div data-bbox="314 1087 1077 1938"></div> <div data-bbox="1130 1860 1359 1923"><p>凡 例</p><p>←●：撮影地点・方向</p></div>	眺望地点の位置	眺望地点は対象事業計画地の南西、約 3,700m 地点に位置する。
		眺望地点の利用状況	地域住民や、仙台市中西部を南北に移動する人の通過に利用されている。
		眺望地点の眺望特性	眺望地点からの景観は、青葉区愛子方向から泉区根白石方向へ進行する場合は下り坂となり、近傍の標高が低いため、対象事業計画地や小角地区を遠方に視認出来る。対象事業計画地は、左右に見られる樹木の間に視認することができる。
		概略地形断面図 (縮尺：任意)	 <p>対象事業計画地</p>

8.10.2. 予測

(1) 存在による影響（改変後の地形）

ア 予測内容

予測内容は、改変後の地形による眺望への影響とした。

イ 予測地点

予測地点は、調査地点と同様とした。

ウ 予測対象時期

予測対象時期は、供用後に全区画入居した場合を想定し、その後の1年間とした。

エ 予測方法

現地調査を実施した計15地点の主要な眺望地点からの眺望景観のフォトモンタージュを作成し、春夏秋冬の4季について眺望景観の変化及び影響を予測するものとした。

オ 予測結果

改変後の地形による予測結果は、図 8.10-2～図 8.10-16に示すとおりである。フォトモンタージュは、各地点とも工事完了後の状況及び供用後の状況を季節別に作成した。

眺望の変化の状況は、表 8.10-7(1)～(4)に示すとおりである。

表 8.10-7(1) 主要な眺望、周辺道路からの景観の変化の予測結果（1/4）

地点番号	眺望地点	対象事業計画地からの距離	仰角または俯角	眺望の変化
1	愛宕地区	約 400m	1.6°	<p>対象事業計画地は田園風景の中に視認される樹林帯の一部である。</p> <p>工事完了後は草本類により緑化された対象事業計画地西側の盛土法面が、住宅や根白石中学校の背後にわずかに視認される。</p> <p>供用後は造成された宅地上に住宅が視認される。また、盛土法面が緑化されることにより、対象事業計画地北側の丘陵地の樹林帯と連続的な景観が形成される。</p> <p>本事業により視認不能となる対象物はない。また、造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが、草本類により緑化された法面により前景の田園風景と調和した景観が形成されることから、眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>
2	紫山公園	約 700m	0.0°	<p>対象事業計画地は紫山公園及び紫山地区の住宅背後に視認される丘陵地の一部である。</p> <p>工事完了後は切土や盛土により丘陵地の一部が造成され、盛土法面に樹木が植栽されるものの、現状の樹林帯の緑の量が減少する。</p> <p>供用後は盛土法面に植栽された樹木が生育することにより、緑に覆われた景観を形成するものと想定される。</p> <p>本事業により視認不能となる対象物はない。また、造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが、植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから、眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>
3	寺岡地区	約 100m	3.0°	<p>対象事業計画地は目前に視認される丘陵地の一部である。</p> <p>工事完了後は盛土造成により比高差約 30m の大規模な盛土法面が目前に出現する。盛土法面には市道宮沢根白石線から東住区へ続く階段が視認されるほか、植栽された樹木が低いこと、表層部に見える盛土法面が視野の大部分を占めることから圧迫感が感じられる。</p> <p>供用後は盛土法面に植栽された樹木が生育することにより、寺岡地区と紫山地区の境界を通る市道宮沢根白石線から本事業の宅地に続く道路との交差点に、緑化された道路法面が新たに創出される。</p> <p>本事業により約 30m の盛土が造成されるものの、視認不能となる対象物はない。また、道路の構築や法面等で元来の景観への影響が生じると考えられるが、植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから、眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>

※1：仰角または俯角は、眺望地点から対象事業計画地の中央部（造成宅地面付近の標高約 120m）を望んだ角度とする。

※2：仰角および俯角は、それぞれ正および負で表す。

表 8.10-7(2) 主要な眺望，周辺道路からの景観の変化の予測結果（2/4）

地点 番号	眺望 地点	対象事業 計画地から の距離	仰角 または 俯角	眺望の変化
4	寺岡地区 住宅地内	約 500m	1.8°	<p>対象事業計画地は寺岡地区の住宅地より，道路樹木や宅地の合間から視認される丘陵地である。</p> <p>工事完了後は切土や盛土により丘陵地の一部が造成され，盛土法面に樹木が植栽されるものの，現状の樹林帯の緑の量が減少する。</p> <p>供用後は盛土法面に植栽された樹木が生育することにより，緑に覆われた景観を形成するものと想定される。</p> <p>本事業により視認不能となる対象物はない。また，造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが，植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから，眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>
5	根白石 地区	約 50m	4.4°	<p>対象事業計画地は田園風景の中に視認される丘陵地である。</p> <p>工事完了後は対象事業計画地南西側の盛土法面及び対象事業計画地中央の切土法面が視認される。対象事業計画地西側の盛土部分は現状が平地であるため，約 30m の盛土が出現することとなる。</p> <p>供用後は造成された宅地上に住宅が視認される。また，草本類による緑化により，前景に見られる田園風景や樹木と調和した景観が形成されるものと想定される。</p> <p>本事業により約 30m の盛土が造成されるものの，視認不能となる対象物はない。また，造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが，植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから，眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>
6	清水田 屋敷地区	約 600m	2.8°	<p>対象事業計画地は田園風景の中に視認される丘陵地である。</p> <p>工事完了後は視認される丘陵地のほぼ全域が改変されることから対象事業計画地南側に造成法面が出現する。法面に樹木が植栽されるものの，現状の樹林帯の緑の量が減少する。</p> <p>供用後は法面に植栽された樹木が生育することにより，緑に覆われた景観を形成するものと想定される。</p> <p>本事業により視認不能となる対象物はない。また，造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが，植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから，眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>
7	市道 川向堂所線	約 1,500m	-1.6°	<p>対象事業計画地は樹木と樹木の合間から遠方に視認される丘陵地の一部である。</p> <p>工事完了後は切土や盛土により丘陵地の樹林帯の一部が改変される。対象事業計画地は稜線よりも下方に位置しているため，春季や夏季の展葉期には樹林帯の一部として視認され，秋季や冬季の落葉期には本事業の造成面や積雪状況がやや目立って視認される。</p> <p>供用後は対象事業計画地内の樹木が生育することにより，緑に覆われた景観を形成するものと想定される。</p> <p>本事業により視認不能となる対象物はない。また，造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが，植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから，眺望景観への影響の程度は小さいと予測される。</p>
8	西田中地区	約 1,000m	1.7°	<p>対象事業計画地は田園風景の中に視認される丘陵地の一部である。</p> <p>工事完了後は切土や盛土により丘陵地の一部が造成され，盛土法面，住宅地盤面，対象事業計画地中央部尾根への切土法面が視認される。法面は草本類による緑化であることから，現状の樹林帯の緑の量は減少する。冬季には雪に覆われた状況が視認される。</p> <p>供用後は造成された宅地上に住宅が視認される。また，樹木の量は減少するものの，草本類による緑化により前景に見られる田園風景や樹木と調和した景観が形成されるものと想定される。</p> <p>本事業により視認不能となる対象物はない。また，造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが，植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから，眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>

※1：仰角または俯角は，眺望地点から対象事業計画地の中央部（造成宅地面付近の標高約 120m）を望んだ角度とする。

※2：仰角および俯角は，それぞれ正および負で表す。

表 8.10-7(3) 主要な眺望，周辺道路からの景観の変化の予測結果（3/4）

地点 番号	眺望 地点	対象事業 計画地から の距離	仰角 または 俯角	眺望の変化
9	露払地区	約 1,100m	1.8°	<p>対象事業計画地は田園風景の中に視認される丘陵地の一部である。</p> <p>工事完了後は切土や盛土により丘陵地の一部が改変され、盛土法面、住宅地盤面、対象事業計画地中央部尾根への切土法面が視認される。法面は草本類による緑化であることから、現状の樹林帯の緑の量は減少する。ただし、展葉期である夏季は目の前の樹木により対象事業計画地のほぼ全域が視認不能であり、春季、秋季、冬季においても目の前の樹木により対象事業計画地東側の一部が視認不能である。</p> <p>供用後は造成された宅地上に住宅が視認される。また、樹木の量は減少するものの、草本類による緑化により前景に見られる田園風景や樹木と調和した景観が形成されるものと想定される。</p> <p>本事業により視認不能となる対象物はない。また、造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが、植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから、眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>
10	屏風岳	約 3,300m	-1.1°	<p>対象事業計画地は谷部に造られた道路の合間から遠方に視認される丘陵地の一部である。</p> <p>工事完了後は切土や盛土により丘陵地の樹林帯の一部が改変される。対象事業計画地は稜線よりも下方に位置しているため、春季や夏季の展葉期は樹林帯の一部として視認され、秋季や冬季の落葉期は本事業の造成面や積雪状況がわずかに視認される。</p> <p>供用後は樹木の量が減少するものの、草本類による緑化により周囲の樹林風景に溶け込み、調和した景観が形成されるものと想定される。</p> <p>本事業により視認不能となる対象物はない。また、造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが、植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから、眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>
11	主要地方道 泉塩釜線 【鼻毛橋】	約 1,000m	3.0°	<p>対象事業計画地は、田園風景の中に視認される丘陵地の一部である。</p> <p>工事完了後は切土や盛土により丘陵地の一部が改変され、盛土法面、住宅地盤面、対象事業計画地中央部尾根への切土法面が視認される。法面は草本類による緑化であることから、現状の樹林帯の緑の量は減少する。特に、秋季や冬季の落葉期には対象事業計画地中央の切土法面や積雪状況がやや目立って視認される。</p> <p>供用後は造成された宅地上に住宅が視認される。また、樹木の量は減少するものの、草本類による緑化により前景に見られる田園風景や樹木と調和した景観が形成されるものと想定される。また、当眺望地点からのシンボルとなりうる泉ヶ岳山頂のスカイラインは、遮ることはない。</p> <p>本事業により視認不能となる対象物はない。また、造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが、植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから、眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>
12	国道 457 号 【田中地区】	約 1,100m	1.4°	<p>対象事業計画地は、田園風景の中に視認される丘陵地の一部である。</p> <p>工事完了後は切土や盛土により丘陵地の一部が改変され、盛土法面、住宅地盤面、対象事業計画地中央部尾根への切土法面が視認される。法面は草本類による緑化であることから、現状の樹林帯の緑の量は減少する。また、対象事業計画地が稜線よりも下方に位置しているため、春季や夏季は緑に覆われた景観を形成するものと想定され、秋季や冬季の落葉期は本事業の造成面や積雪状況が視認される。</p> <p>供用後は造成された宅地上に住宅が視認される。また、樹木の量は減少するものの、草本類による緑化により前景に見られる田園風景や樹木と調和した景観が形成されるものと想定される。</p> <p>本事業により視認不能となる対象物はない。また、造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが、植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから、眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>

※1：仰角または俯角は、眺望地点から対象事業計画地の中央部（造成宅地面付近の標高約 120m）を望んだ角度とする。

※2：仰角および俯角は、それぞれ正および負で表す。

表 8.10-7(4) 主要な眺望，周辺道路からの景観の変化の予測結果（4/4）

地点 番号	眺望 地点	対象事業 計画地から の距離	仰角 または 俯角	眺望の変化
13	市道荒巻根白石線 【実沢大橋】	約2,000m	1.1°	<p>対象事業計画地は田園風景の中に視認される丘陵地の一部である。</p> <p>工事完了後は切土や盛土により丘陵地の一部が改変され，盛土法面，住宅地盤面，対象事業計画地中央部尾根への切土法面が視認される。対象事業計画地東側では法面に植栽された樹木が低く，対象事業計画地中央～西側では法面が草本類による緑化であることから，現状の樹林帯の緑の量が減少する。また，対象事業計画地が稜線よりも下方に位置しているため，春季や夏季の展葉期は樹林帯の一部として視認され，秋季や冬季の落葉期は住宅地の造成面や積雪状況が視認される。</p> <p>供用後は樹木の量が減少するものの，植栽された樹木が生育することや草本類による緑化により周囲の樹林風景に溶け込み，調和した景観が形成されるものと想定される。また，当眺望地点からのシンボルとなりうる泉ヶ岳山頂のスカイラインは，遮ることはない。</p> <p>本事業により視認不能となる対象物はない。また，造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが，植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから，眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>
14	主要地方道 泉塩釜線 【泉 PA 付近】	約3,000m	1.3°	<p>対象事業計画地は，目の前の樹木により遮られ視認不能であることから，眺望景観への影響はないと予測される。</p>
15	国道 457 号 【新塩沢橋】	約3,700m	0.3°	<p>対象事業計画地は目の前の丘陵地の合間から遠方に視認される丘陵地の一部である。</p> <p>工事完了後は切土や盛土により丘陵地の一部が改変され，盛土法面，住宅地盤面，対象事業計画地中央部尾根への切土法面が視認される。対象事業計画地東側では法面に植栽された樹木が低く，対象事業計画地中央～西側では法面が草本類による緑化であることから，現状の樹林帯の緑の量が減少する。また，対象事業計画地が稜線よりも下方に位置しているため，春季や夏季は緑に覆われた景観を形成するものと想定され，秋季や冬季の落葉期は住宅地の造成面や積雪状況が視認される。</p> <p>供用後は樹木の量が減少するものの，植栽された樹木が生育することや草本類による緑化により周囲の樹林風景に溶け込み，調和した景観が形成されるものと想定される。</p> <p>本事業により視認不能となる対象物はない。また，造成により元来の景観への影響が生じると考えられるが，植栽による緑化によりその変化を軽減し周囲の自然環境と調和した景観を形成していることから，眺望景観への影響は小さいと予測される。</p>

※1：仰角または俯角は，眺望地点から対象事業計画地の中央部（造成宅地面付近の標高約 120m）を望んだ角度とする。

※2：仰角および俯角は，それぞれ正および負で表す。



現状【春季】



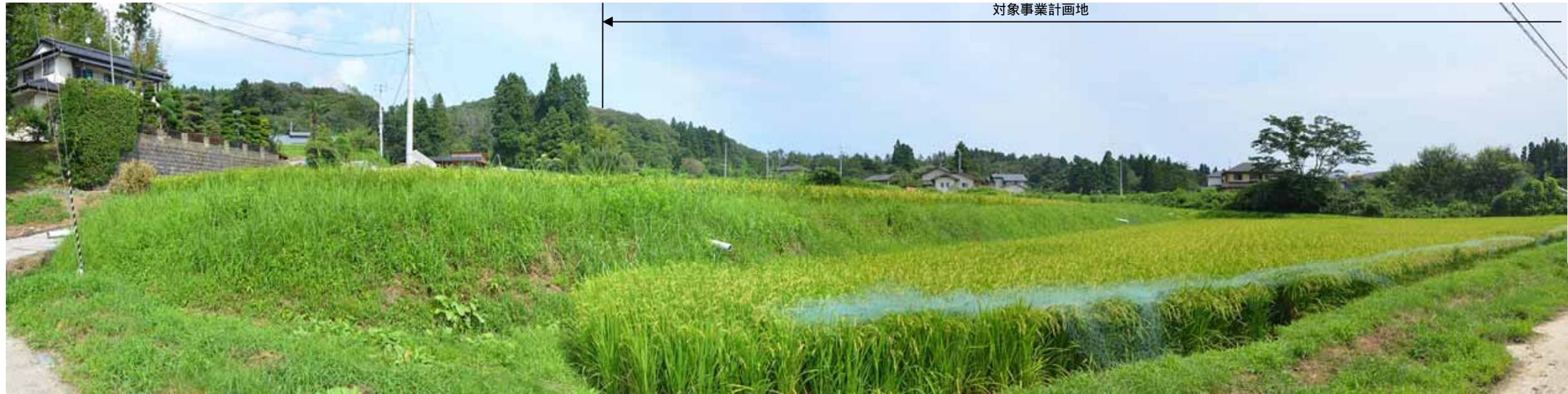
工事完了後【春季】



供用後【春季】

図 8.10-2(1) 眺望景観の変化の予測結果（地点 1：愛宕地区（春））

対象事業計画地



現状【夏季】



工事完了後【夏季】



供用後【夏季】

図 8.10-2(2) 眺望景観の変化の予測結果（地点 1：愛宕地区（夏））

対象事業計画地



現状【秋季】



工事完了後【秋季】



供用後【秋季】

図 8.10-2(3) 眺望景観の変化の予測結果（地点 1：愛宕地区（秋））

対象事業計画地



現状【冬季】



工事完了後【冬季】



供用後【冬季】

図 8.10-2(4) 眺望景観の変化の予測結果（地点 1：愛宕地区（冬））



現状【春季】



工事完了後【春季】



供用後【春季】

図 8.10-3(1) 眺望景観の変化の予測結果（地点 2：紫山公園（春））



現状【夏季】



工事完了後【夏季】



供用後【夏季】

図 8.10-3(2) 眺望景観の変化の予測結果（地点 2：紫山公園（夏））



現状【秋季】



工事完了後【秋季】



供用後【秋季】

図 8.10-3(3) 眺望景観の変化の予測結果（地点 2：紫山公園（秋））



現状【冬季】



工事完了後【冬季】



供用後【冬季】

図 8.10-3(4) 眺望景観の変化の予測結果（地点 2：紫山公園（冬））



図 8.10-4(1) 眺望景観の変化の予測結果（地点 3：寺岡地区（春））



図 8.10-4(2) 眺望景観の変化の予測結果（地点3：寺岡地区（夏））



図 8.10-4(3) 眺望景観の変化の予測結果（地点 3：寺岡地区（秋））



図 8.10-4(4) 眺望景観の変化の予測結果（地点 3：寺岡地区（冬））

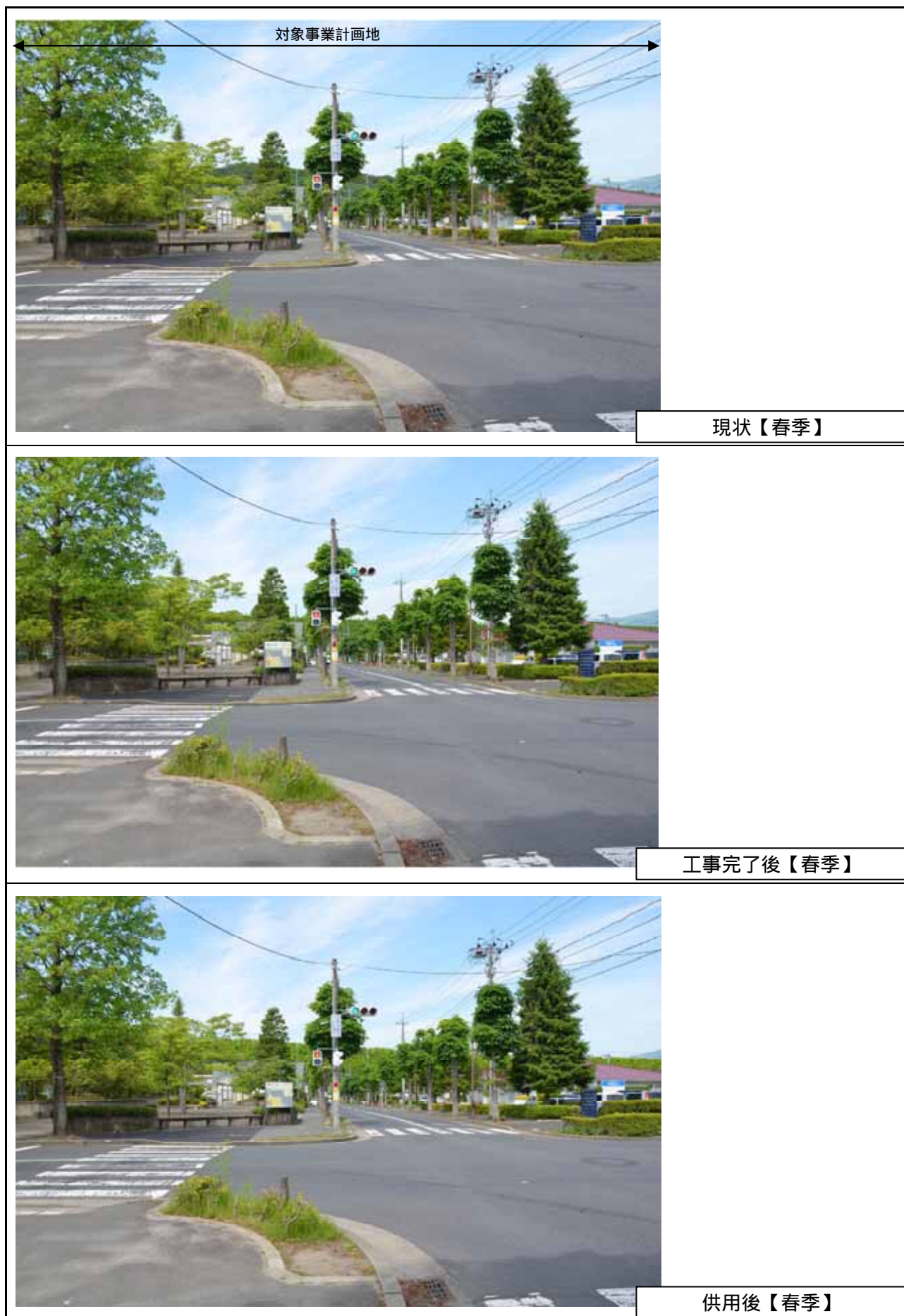


図 8.10-5(1) 眺望景観の変化の予測結果（地点 4：寺岡地区_住宅地内（春））



図 8.10-5(2) 眺望景観の変化の予測結果（地点4：寺岡地区_住宅地内（夏））



図 8.10-5(3) 眺望景観の変化の予測結果（地点4：寺岡地区_住宅地内（秋））

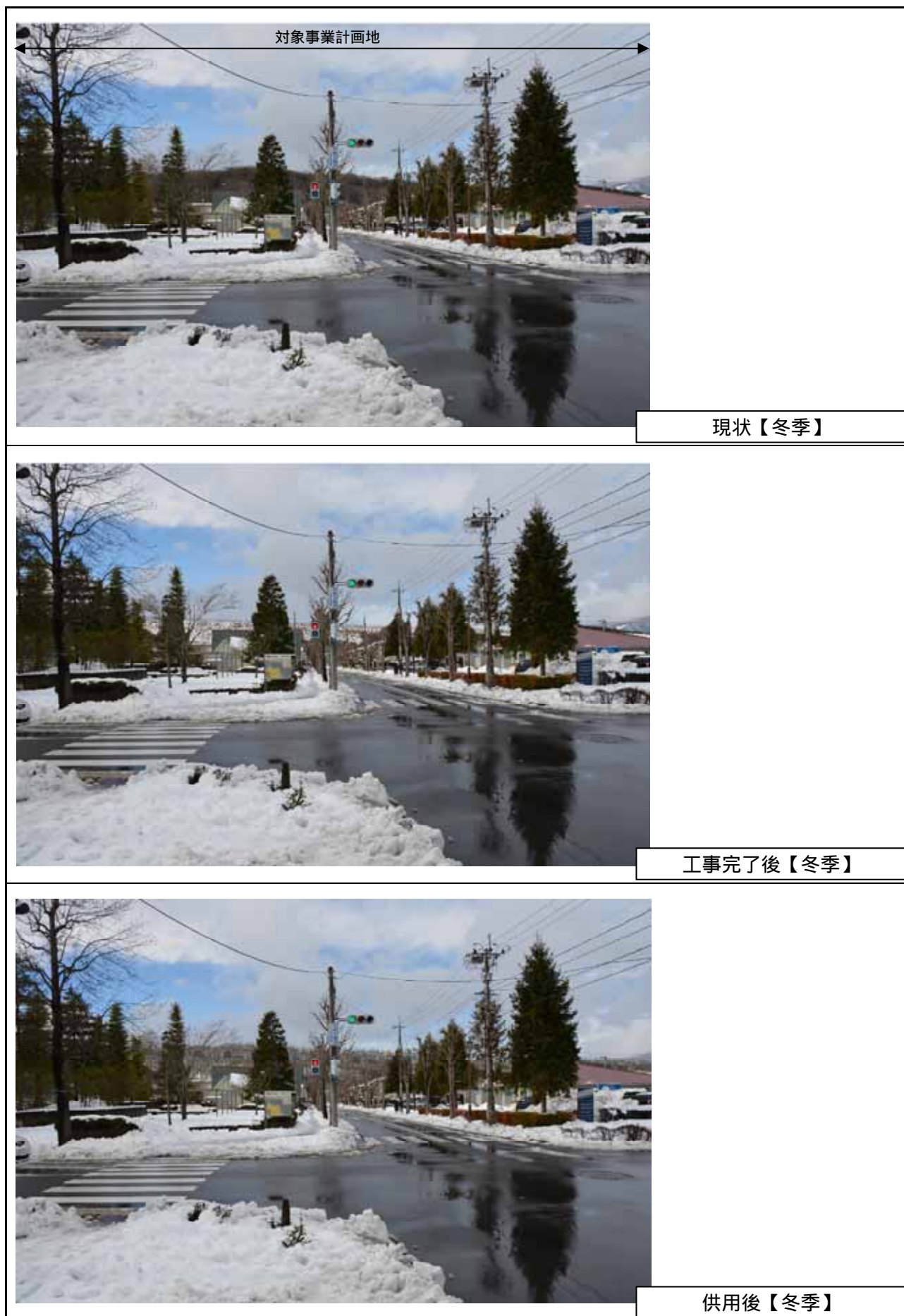


図 8.10-5(4) 眺望景観の変化の予測結果（地点 4：寺岡地区_住宅地内（冬））



現状【春季】



工事完了後【春季】



供用後【春季】

図 8.10-6(1) 眺望景観の変化の予測結果 (地点 5: 根白石地区 (春))



現状【夏季】



工事完了後【夏季】



供用後【夏季】

図 8.10-6(2) 眺望景観の変化の予測結果 (地点 5 : 根白石地区 (夏))



現状【秋季】



工事完了後【秋季】



供用後【秋季】

図 8.10-6(3) 眺望景観の変化の予測結果 (地点 5 : 根白石地区 (秋))



現状【冬季】



工事完了後【冬季】



供用後【冬季】

図 8.10-6(4) 眺望景觀の変化の予測結果（地点 5：根白石地区（冬））



現状【春季】



工事完了後【春季】



供用後【春季】

図 8.10-7(1) 眺望景観の変化の予測結果 (地点 6 : 清水田屋敷地区 (春))



現状【夏季】



工事完了後【夏季】



供用後【夏季】

図 8.10-7(2) 眺望景観の変化の予測結果 (地点 6 : 清水田屋敷地区 (夏))



現状【秋季】



工事完了後【秋季】



供用後【秋季】

図 8.10-7(3) 眺望景観の変化の予測結果 (地点 6 : 清水田屋敷地区 (秋))



現状【冬季】



工事完了後【冬季】



供用後【冬季】

図 8.10-7(4) 眺望景観の変化の予測結果 (地点 6 : 清水田屋敷地区 (冬))



図 8.10-8(1) 眺望景観の変化の予測結果（地点7：市道川向堂所線（春））

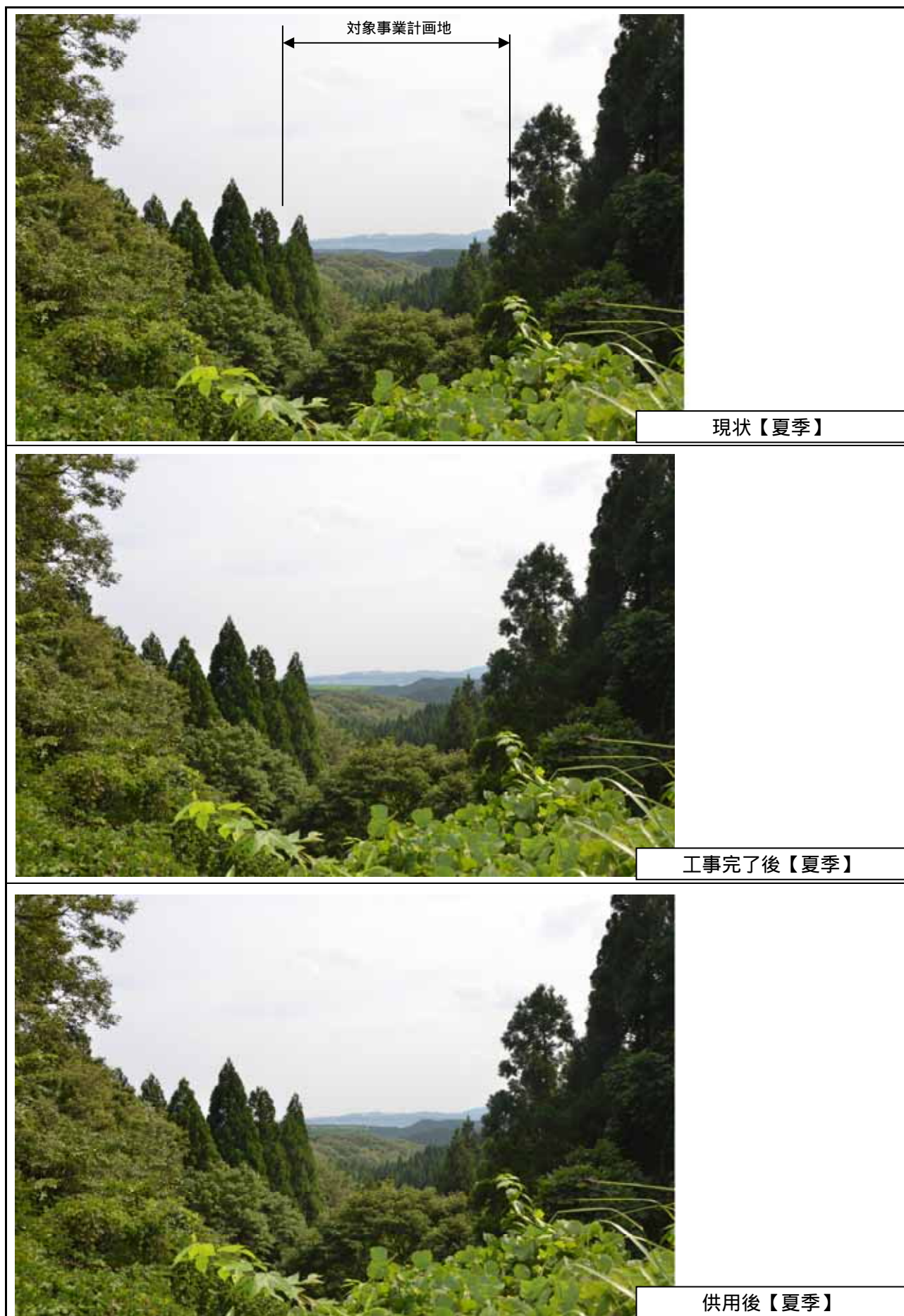


図 8.10-8(2) 眺望景觀の変化の予測結果（地点7：市道川向堂所線（夏））

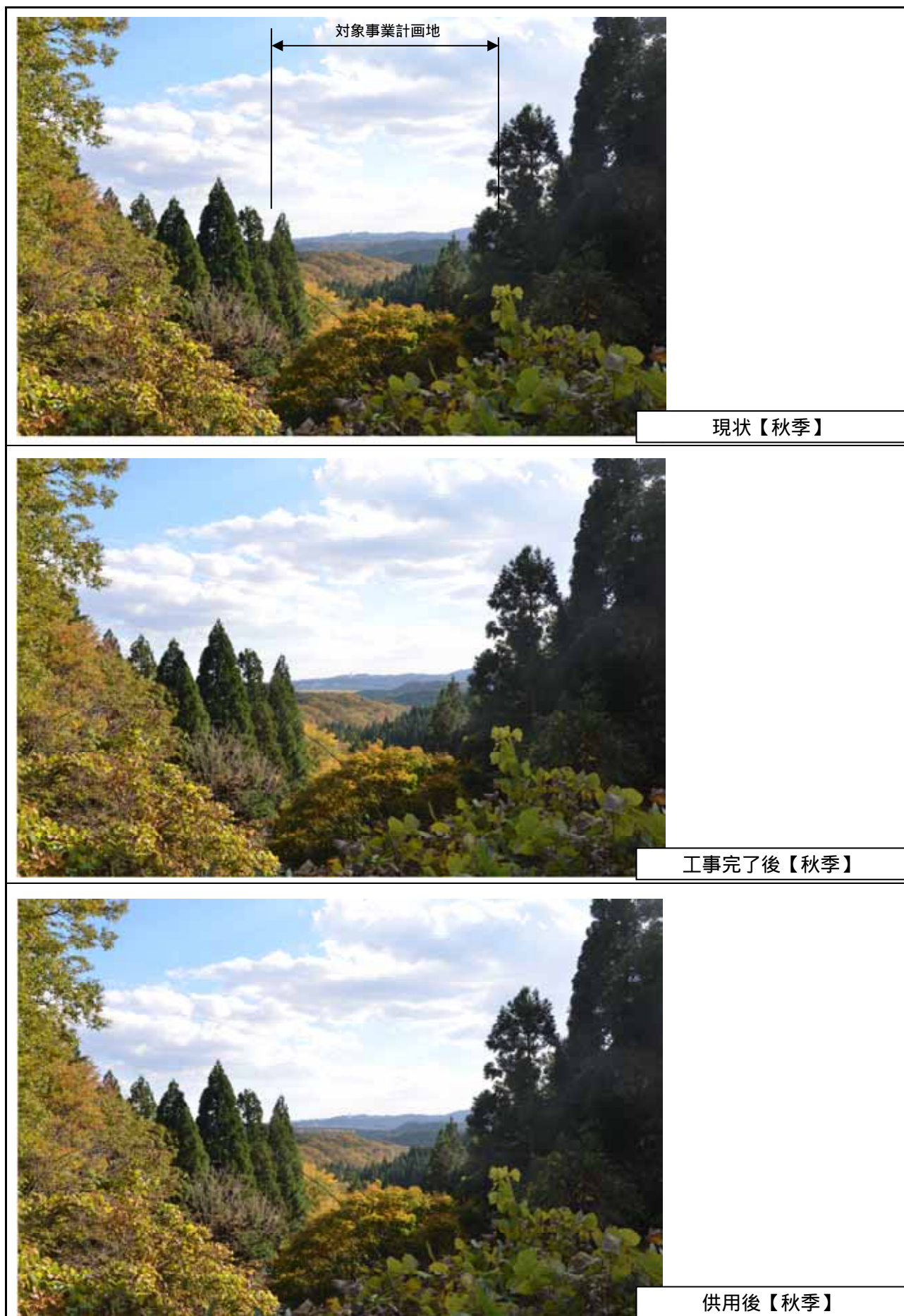
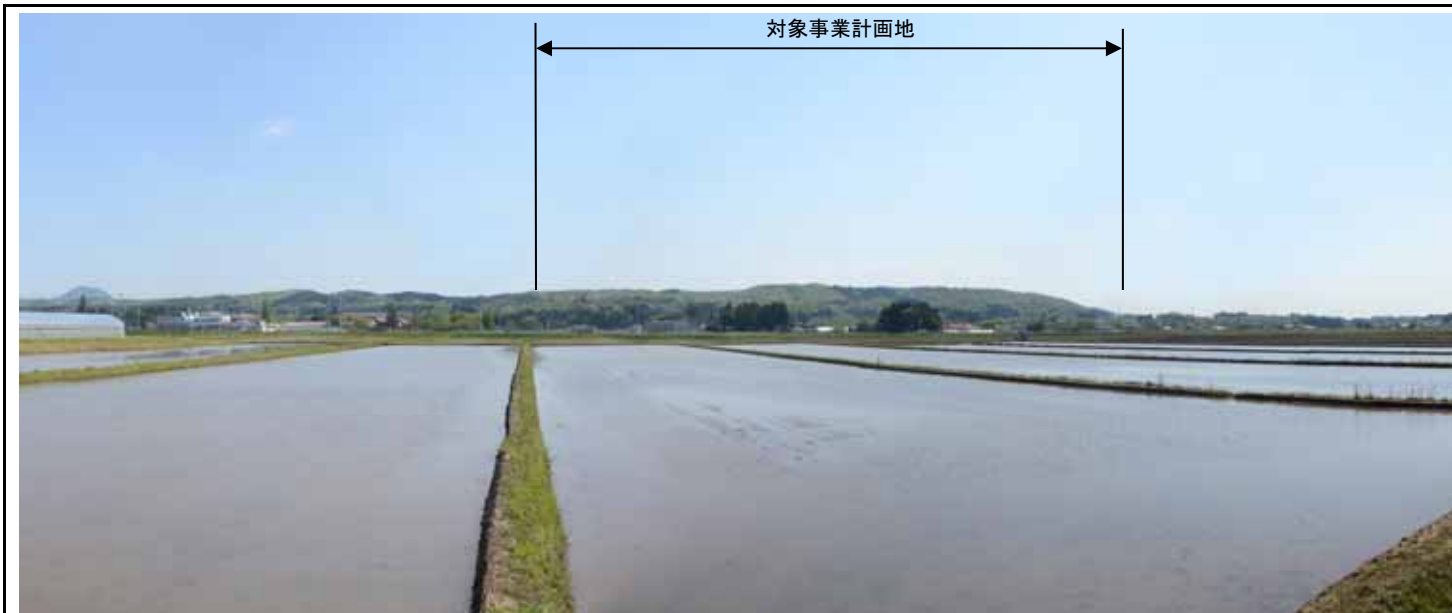


図 8.10-8(3) 眺望景觀の変化の予測結果（地点 7：市道川向堂所線（秋））



図 8.10-8(4) 眺望景観の変化の予測結果（地点7：市道川向堂所線（冬））



現状【春季】



工事完了後【春季】



供用後【春季】

図 8.10-9(1) 眺望景観の変化の予測結果（地点 8：西田中地区（春））



現状【夏季】



工事完了後【夏季】



供用後【夏季】

図 8.10-9(2) 眺望景観の変化の予測結果（地点 8：西田中地区（夏））



図 8.10-9(3) 眺望景観の変化の予測結果（地点 8：西田中地区（秋））



現状【冬季】



工事完了後【冬季】



供用後【冬季】

図 8.10-9(4) 眺望景観の変化の予測結果（地点 8：西田中地区（冬））



現状【春季】



工事完了後【春季】



供用後【春季】

図 8.10-10(1) 眺望景観の変化の予測結果（地点9：露払地区（春））



現状【夏季】



工事完了後【夏季】



供用後【夏季】

図 8.10-10(2) 眺望景観の変化の予測結果（地点 9：露払地区（夏））



図 8.10-10(3) 眺望景観の変化の予測結果（地点 9：露払地区（秋））



現状【冬季】



工事完了後【冬季】



供用後【冬季】

図 8.10-10(4) 眺望景観の変化の予測結果（地点9：露払地区（冬））

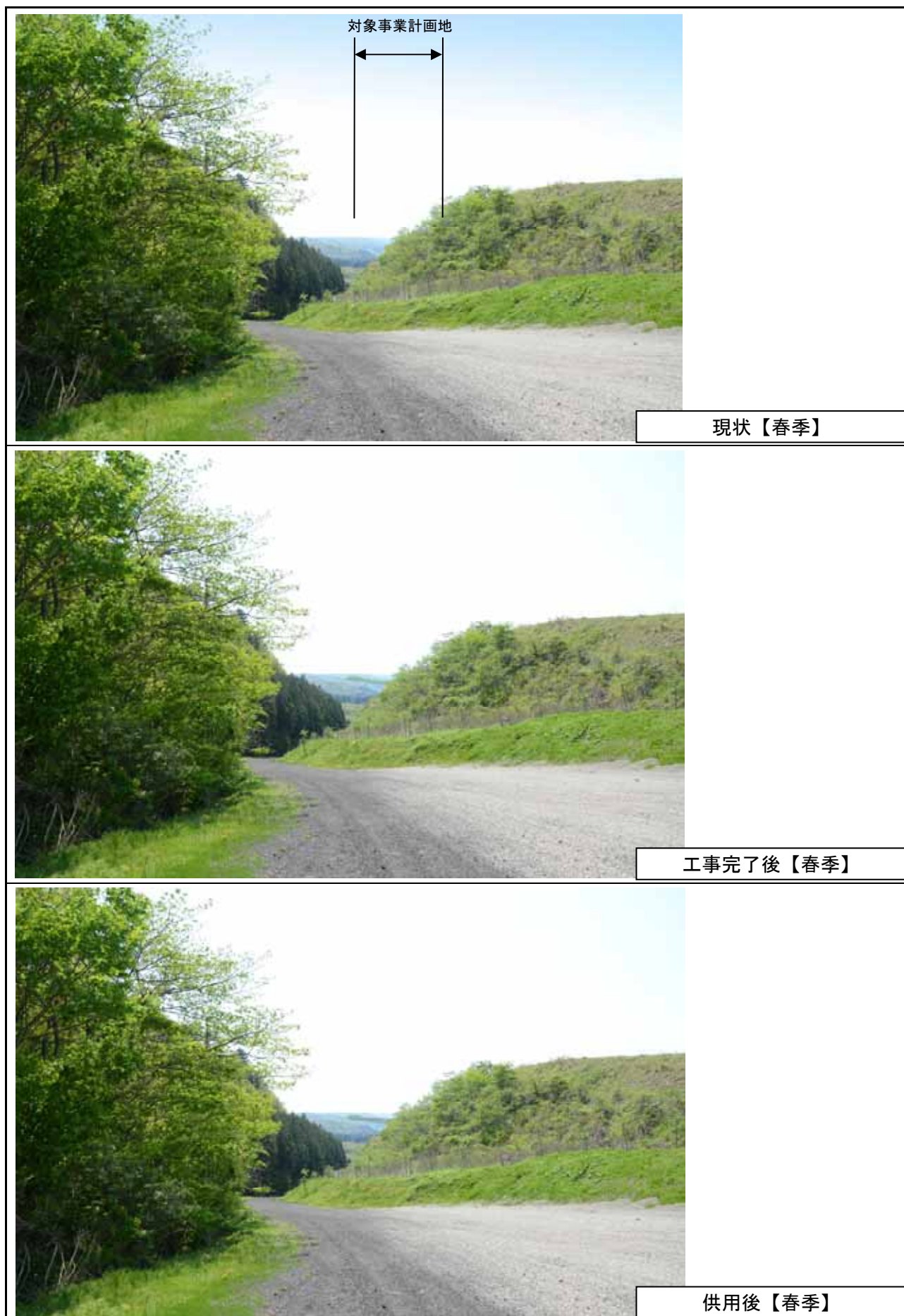


図 8.10-11(1) 眺望景観の変化の予測結果（地点 10：屏風岳（春））

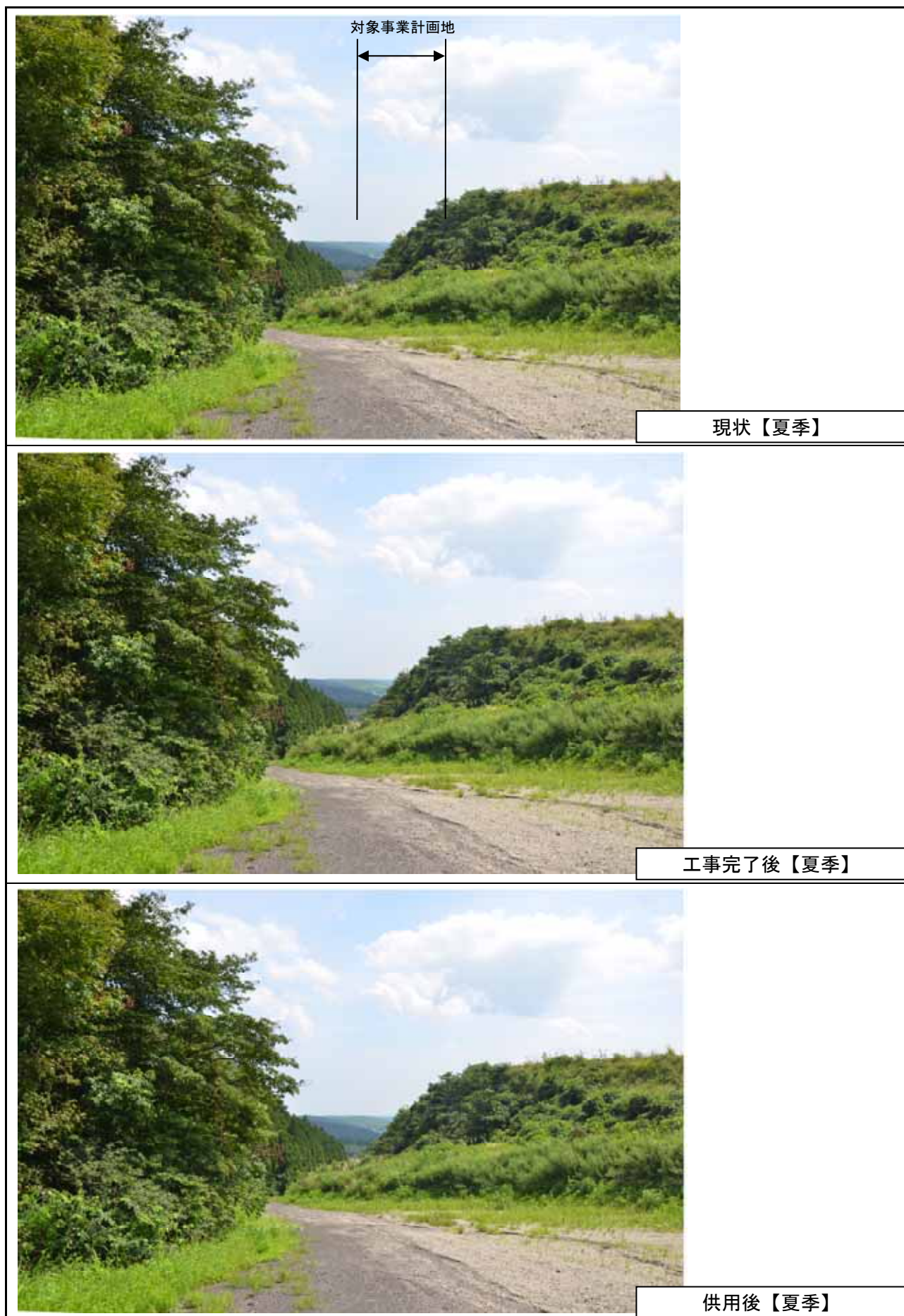


図 8.10-11(2) 眺望景観の変化の予測結果 (地点 10 : 屏風岳 (夏))

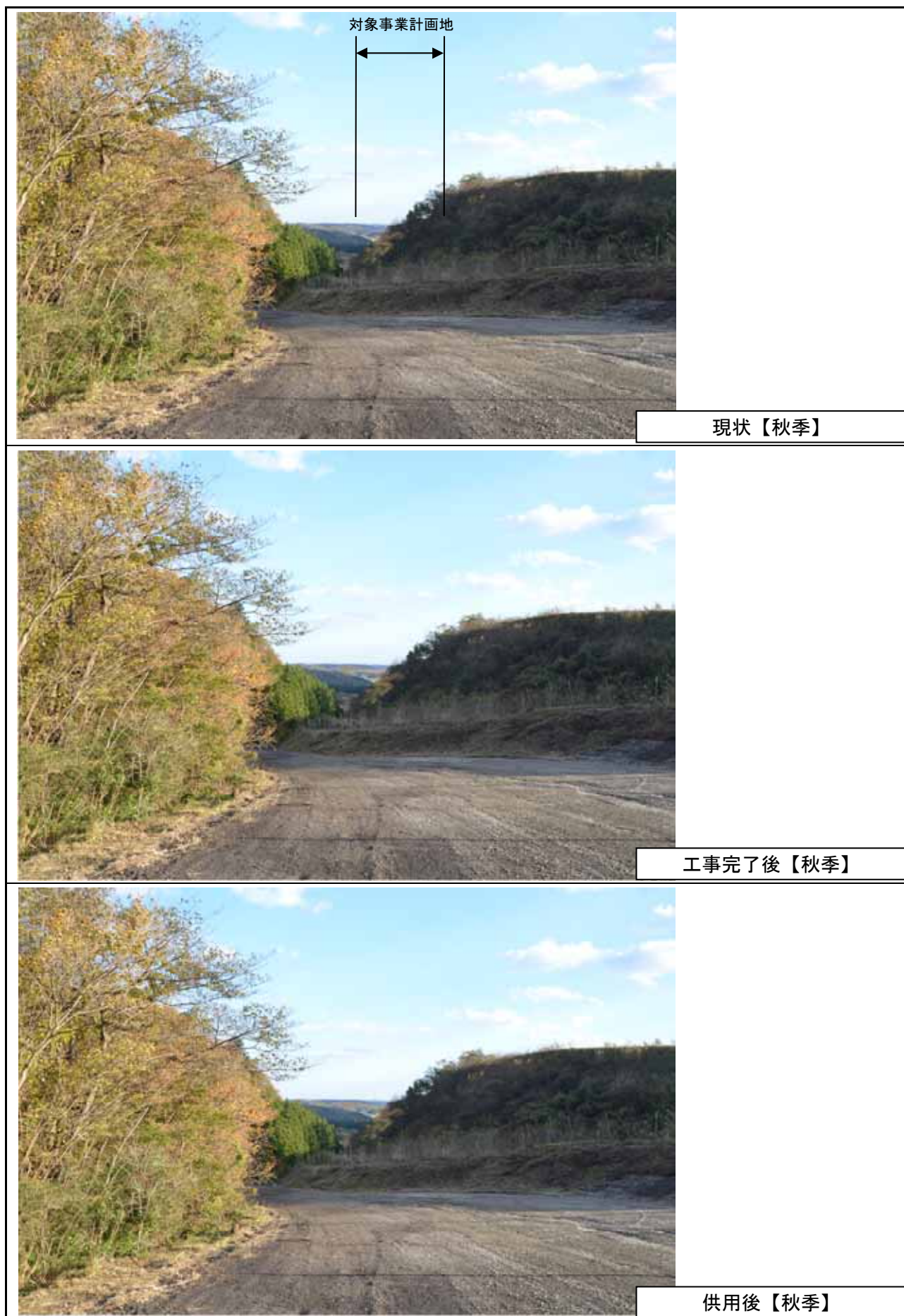


図 8.10-11(3) 眺望景観の変化の予測結果（地点10：屏風岳（秋））

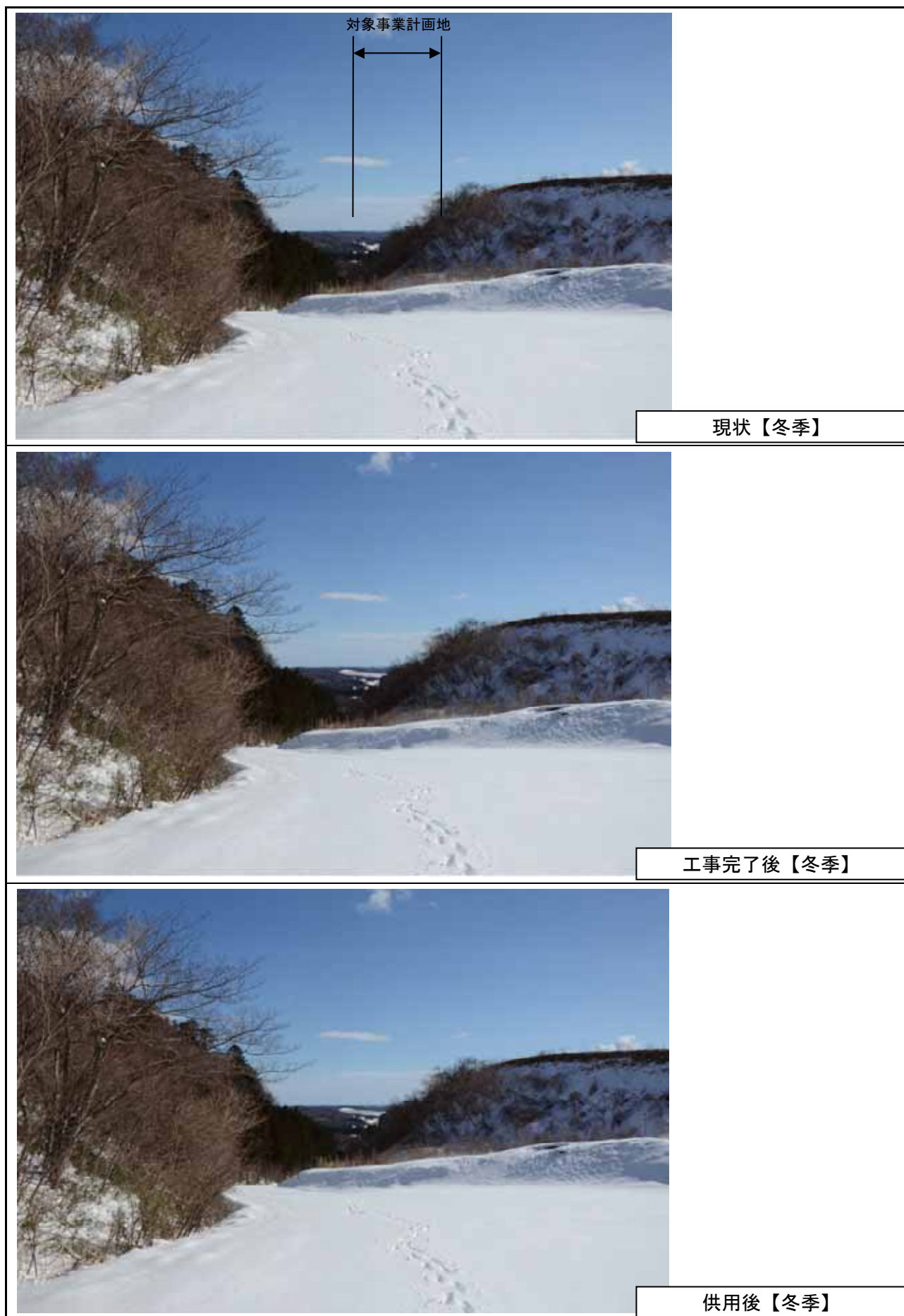


図 8.10-11(4) 眺望景観の変化の予測結果（地点10：屏風岳（冬））



現状【春季】



工事完了後【春季】



供用後【春季】

図 8.10-12(1) 眺望景観の変化の予測結果（地点 11：主要地方道泉塩釜線【鼻毛橋】（春））



現状【夏季】



工事完了後【夏季】



供用後【夏季】

図 8.10-12(2) 眺望景観の変化の予測結果（地点 11：主要地方道泉塩釜線【鼻毛橋】（夏））



現状【秋季】



工事完了後【秋季】



供用後【秋季】

図 8.10-12(3) 眺望景観の変化の予測結果（地点 11：主要地方道泉塩釜線【鼻毛橋】（秋））



現状【冬季】



工事完了後【冬季】



供用後【冬季】

図 8.10-12(4) 眺望景観の変化の予測結果（地点 11：主要地方道泉塩釜線【鼻毛橋】（冬））



現状【春季】



工事完了後【春季】



供用後【春季】

図 8.10-13(1) 眺望景観の変化の予測結果 (地点 12 : 国道 457 号【田中地区】(春))



現状【夏季】



工事完了後【夏季】



供用後【夏季】

図 8.10-13(2) 眺望景観の変化の予測結果 (地点 12 : 国道 457 号【田中地区】(夏))



現状【秋季】

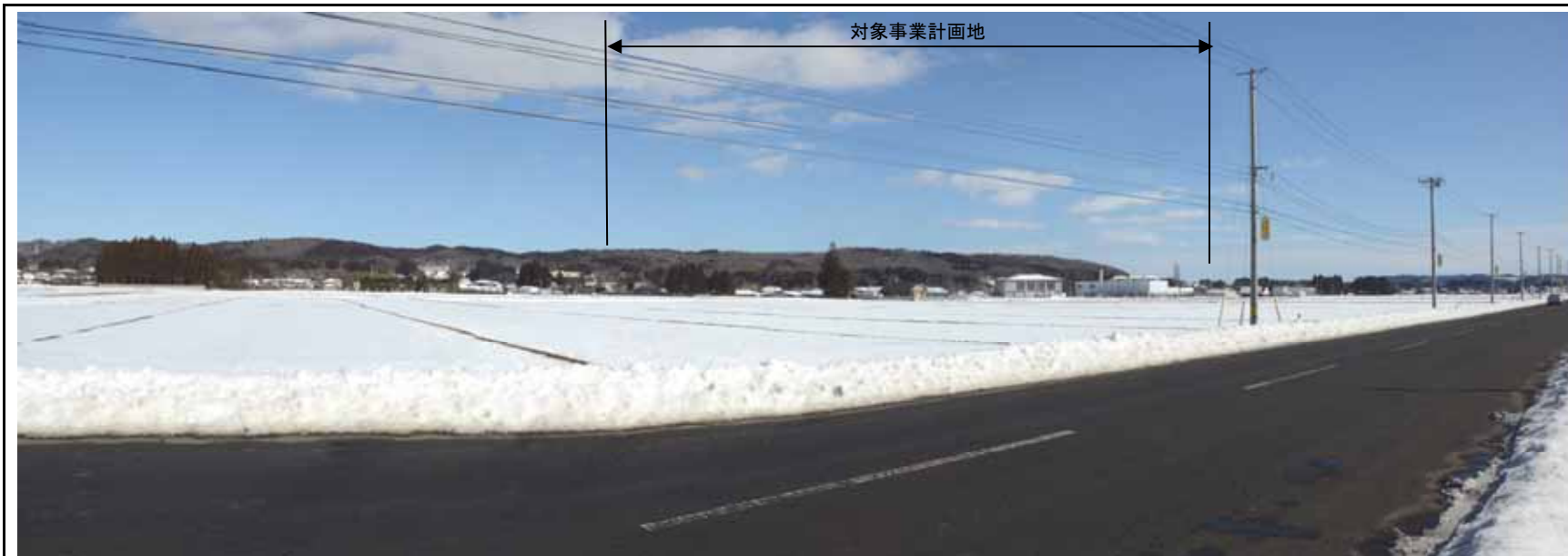


工事完了後【秋季】



供用後【秋季】

図 8.10-13(3) 眺望景観の変化の予測結果 (地点 12 : 国道 457 号【田中地区】(秋))



現状【冬季】



工事完了後【冬季】



供用後【冬季】

図 8.10-13(4) 眺望景観の変化の予測結果 (地点 12 : 国道 457 号【田中地区】(冬))



図 8.10-14(1) 眺望景観の変化の予測結果（地点 13：市道荒巻根白石線【実沢大橋】（春））



図 8.10-14(2) 眺望景観の変化の予測結果（地点 13：市道荒巻根白石線【実沢大橋】（夏））



図 8.10-14(3) 眺望景観の変化の予測結果（地点 13：市道荒巻根白石線【実沢大橋】（秋））

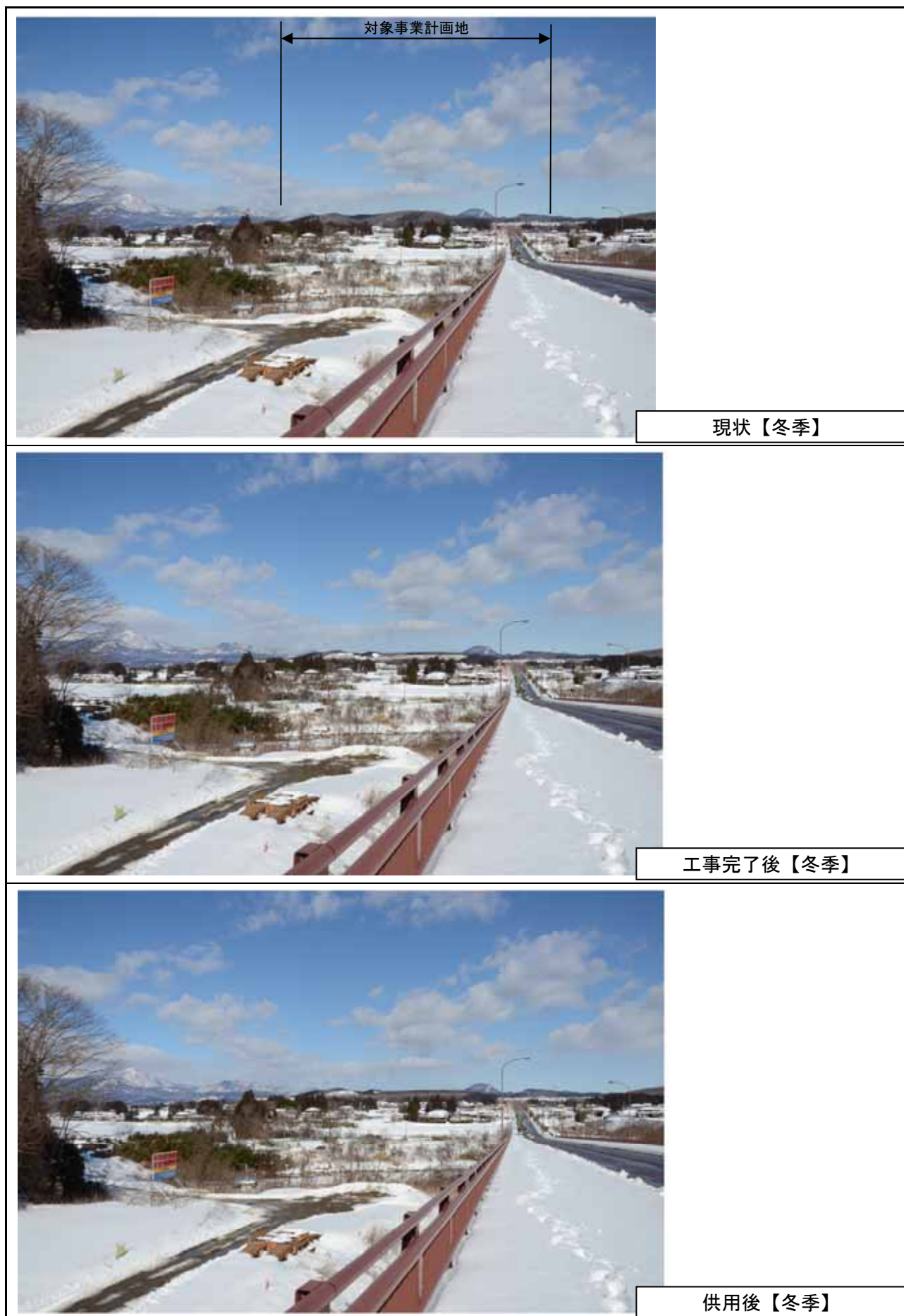


図 8.10-14(4) 眺望景観の変化の予測結果（地点 13：市道荒巻根白石線【実沢大橋】（冬））



現状【春季】



既存樹木により視認できないものと予測

工事完了後【春季】



既存樹木により視認できないものと予測

供用後【春季】

図 8.10-15(1) 眺望景観の変化の予測結果（地点 14：主要地方道泉塩釜線【泉 PA 付近】（春））



現状【夏季】



既存樹木により視認できないものと予測

工事完了後【夏季】



既存樹木により視認できないものと予測

供用後【夏季】

図 8.10-15(2) 眺望景観の変化の予測結果（地点 14：主要地方道泉塩釜線【泉 PA 付近】（夏））



現状【秋季】



既存樹木により視認できないものと予測

工事完了後【秋季】



既存樹木により視認できないものと予測

供用後【秋季】

図 8.10-15(3) 眺望景観の変化の予測結果（地点 14：主要地方道泉塩釜線【泉 PA 付近】（秋））



現状【冬季】



既存樹木により視認できないものと予測

工事完了後【冬季】



既存樹木により視認できないものと予測

供用後【冬季】

図 8.10-15(4) 眺望景観の変化の予測結果（地点 14：主要地方道泉塩釜線【泉 PA 付近】（冬））

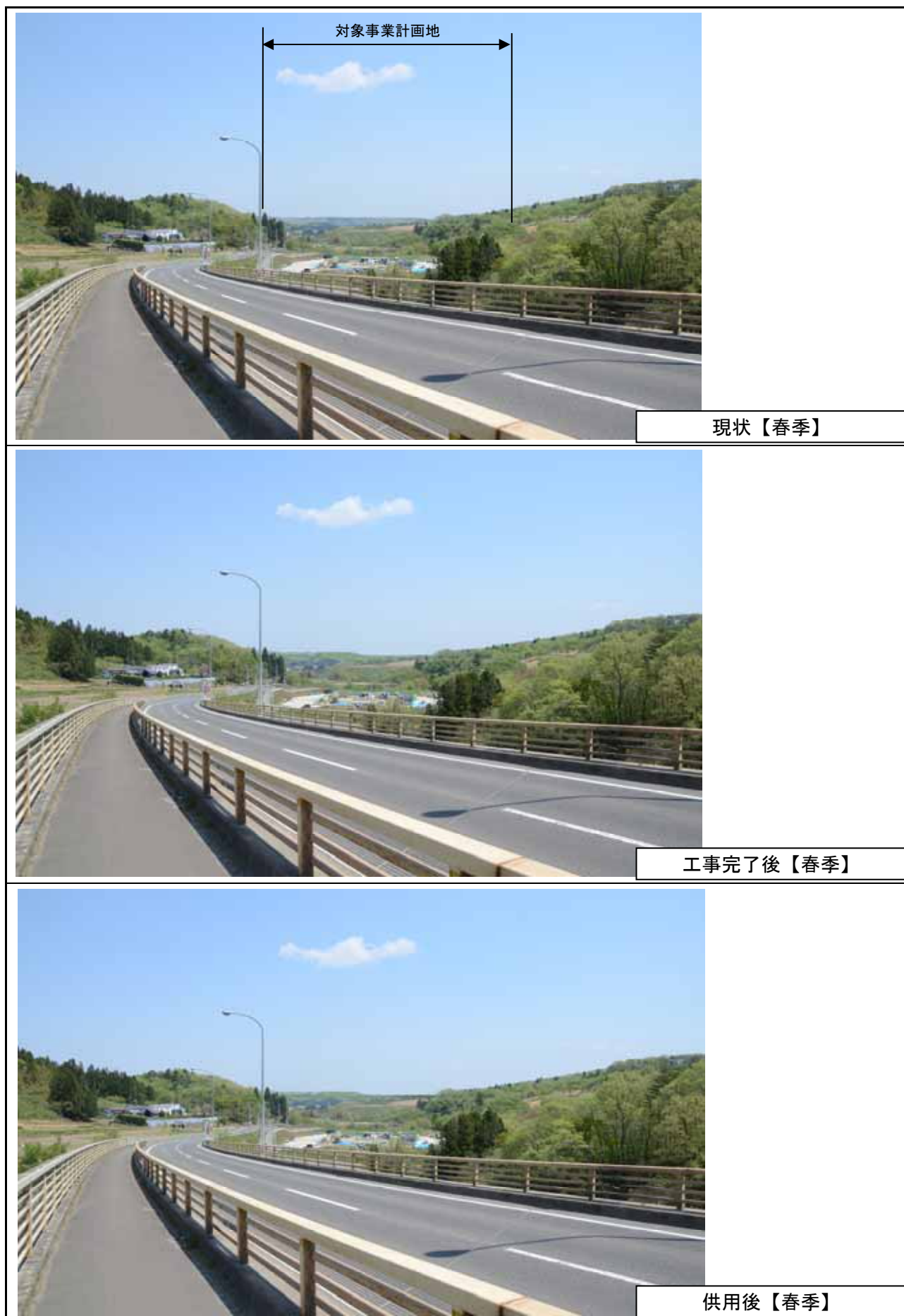


図 8.10-16(1) 眺望景観の変化の予測結果（地点 15：国道 457 号【新塩沢橋】（春））

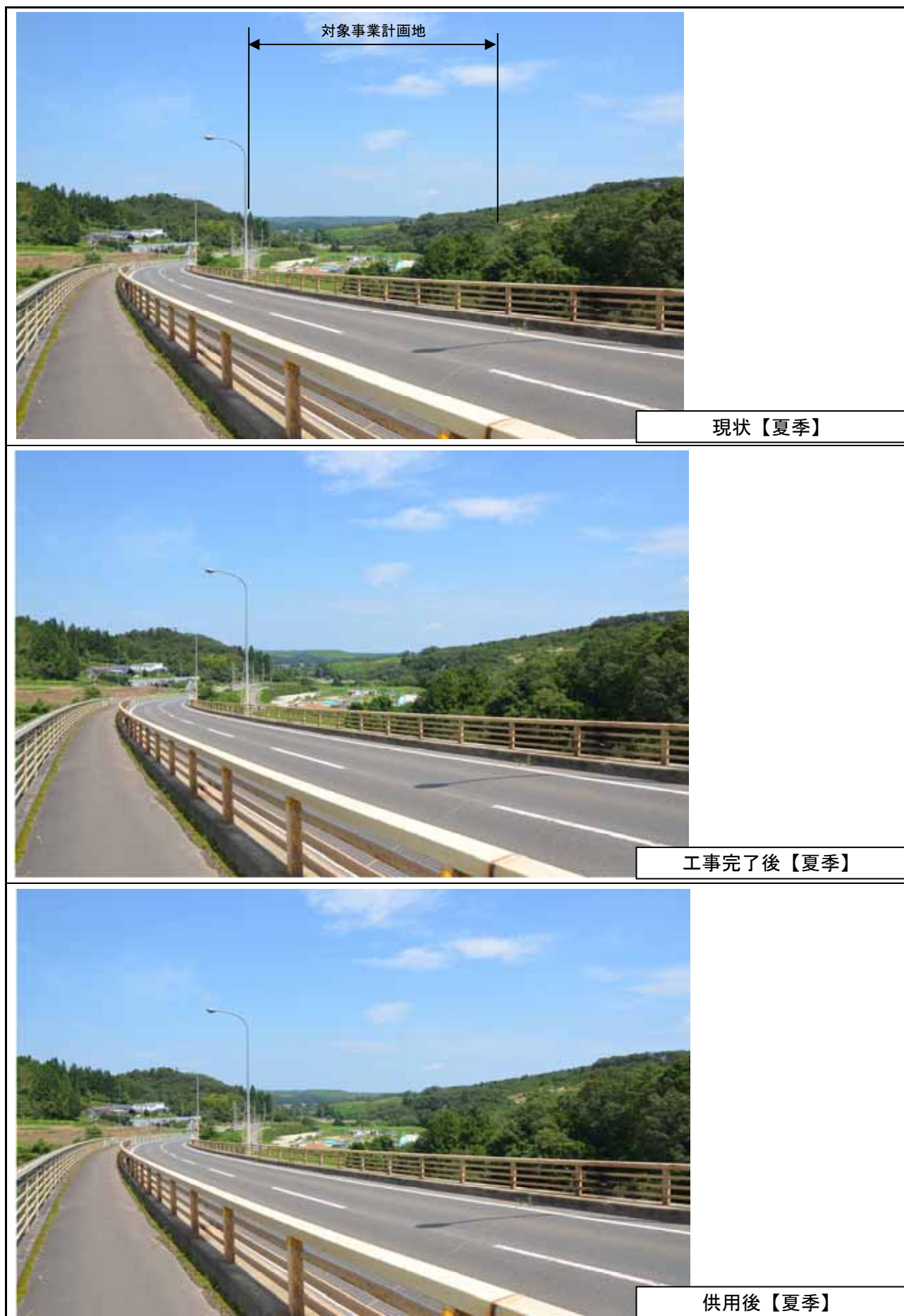


図 8.10-16 (2) 眺望景観の変化の予測結果（地点 15：国道 457 号【新塩沢橋】（夏））

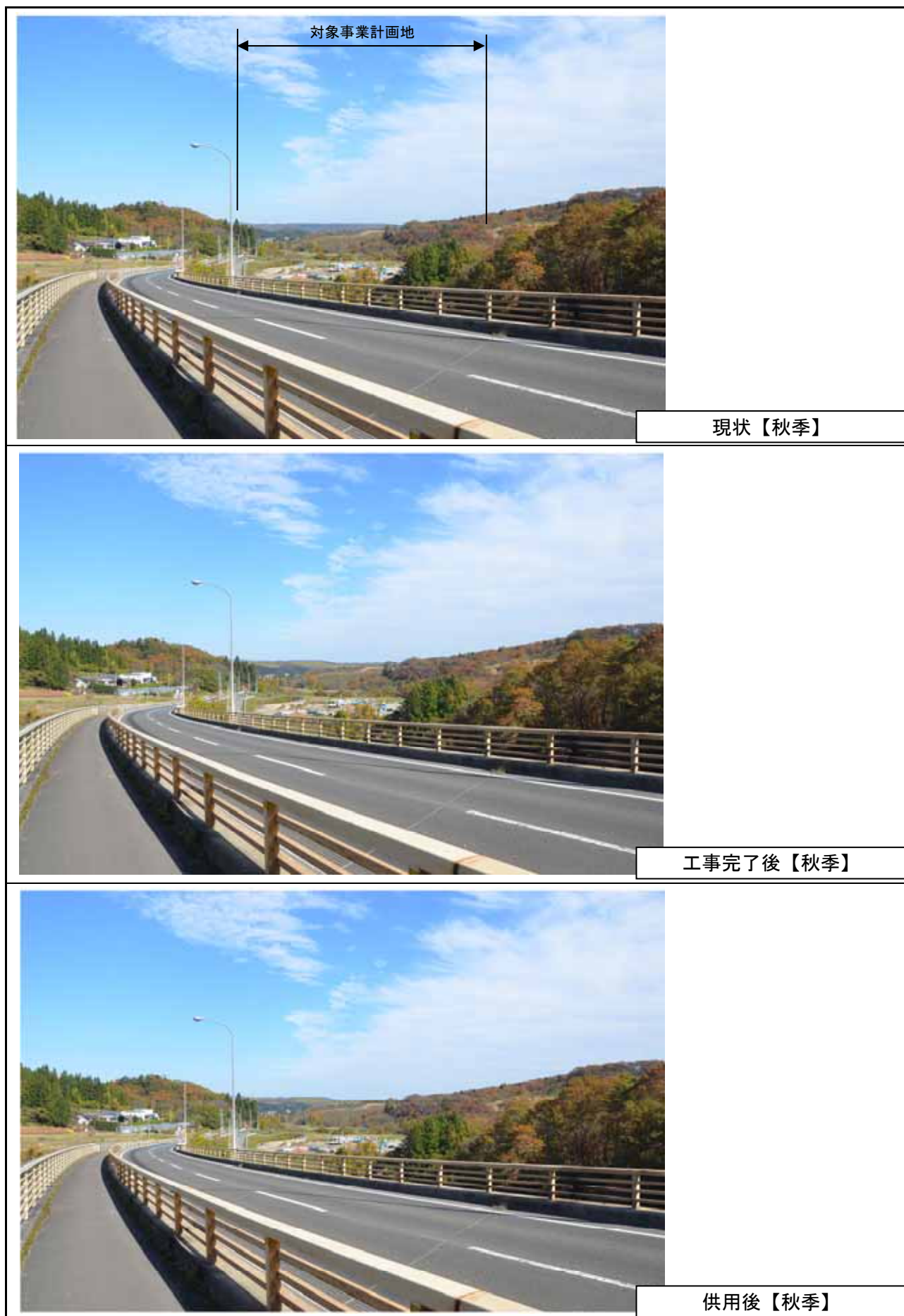


図 8.10-16(3) 眺望景観の変化の予測結果（地点 15：国道 457 号【新塩沢橋】（秋））

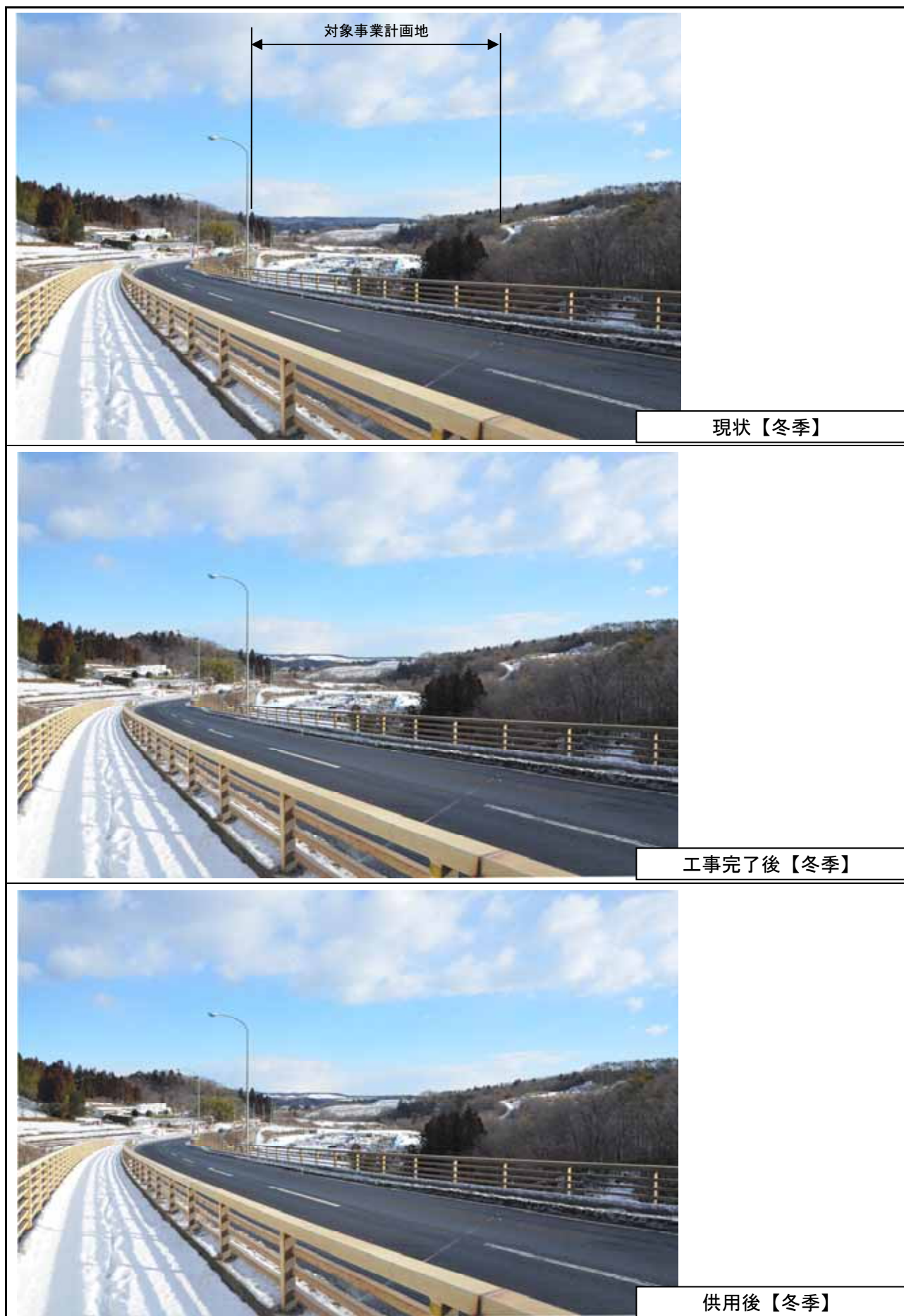


図 8.10-16(4) 眺望景観の変化の予測結果（地点 15：国道 457 号【新塩沢橋】（冬））

8.10.3. 環境の保全及び創造のための措置

(1) 存在による影響（改変後の地形）

改変後の地形による景観の影響を予測した結果、主要な眺望及び周辺道路からの景観への影響は小さいと予測された。

本事業の実施にあたっては、改変後の地形による景観への影響を可能な限り低減するため、表 8.10-8 に示す措置を講ずることとする。

表 8.10-8 環境の保全及び創造のための措置（存在による影響（改変後の地形））

環境影響要因	環境の保全及び創造のための措置の内容
存在による影響 (改変後の地形)	<ul style="list-style-type: none">●周辺環境と調和した景観形成<ul style="list-style-type: none">・対象事業計画地に発生する造成法面には高木類や草本類の緑化を施すことで、周辺の田園景観や丘陵景観、既存の住宅地景観との調和に努める。・主要な眺望地点から望む泉ヶ岳等の景観に支障が生じないように、山並みのスカイラインを遮ることの無い盛土高さとする。・造成法面へ草本類・高木類で緑化することのほか、対象事業計画地のほぼ中心部に位置する既存緑地の尾根をほぼ自然の状態の緑地として残置して対象事業計画地の北側～北西側の森林環境と連続性を持たせることで、周辺の丘陵地や樹林帯と一体的な景観形成を図る。●くつろぎとやすらぎ、潤いある住宅地景観の形成<ul style="list-style-type: none">・対象事業計画地のほぼ中心部に位置する自然緑地の尾根を残しながら、その自然緑地と馴染むような公園を隣接させ、一体的でまとまりのある緑のボリュームをつくり出し、対象事業計画地全体を緑豊かな住宅地として整備する。・対象事業計画地内の幹線道路には高木の列植、低木の連続植栽帯を設けることで、潤いのある通り景観の形成を図る・道路に面した宅地入り口へ生垣を設置するよう住民に啓発する。・対象事業計画地の中央の公園は残置する自然緑地と連続したものとして計画し、残置する自然緑地と相まって住民が自然を身近に感じることのできる公園計画とする。

8.10.4. 評価

(1) 存在による影響（改変後の地形）

ア 回避・低減に係る評価

① 評価方法

予測結果を踏まえ、改変後の地形による眺望の影響が、改変面積の最小化、緑地創出等の保全対策により実行可能な範囲内で回避・低減が図られているか否かを判断する。

② 評価結果

環境保全措置として、周辺環境と調査した景観形成、くつろぎとやすらぎ、潤いある住宅地景観の形成により景観への影響の抑制が図られていることから、改変後の地形による眺望への影響は実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

イ 基準や目標との整合性に係る評価

① 評価手法

予測結果が、表 8.10-9に示す基準等と整合が図られているかを評価する。

表 8.10-9 整合を図る基準(存在による影響(改変後の地形))

環境影響要因	整合を図る基準の内容
存在による影響 (改変後の地形)	・「仙台市「杜の都」景観計画」(平成 21 年 仙台市)における「市街地景観 郊外住宅地ゾーン」の景観形成方針(表 8.10-10参照)との整合性

表 8.10-10 「市街地景観 郊外住宅地ゾーン」の景観形成の方針

周囲の自然環境と調和した、落ち着き感のある良好な住宅地の景観形成を図る。 くつろぎとやすらぎ、潤いのある住宅地景観の形成を図る。 地区特性を活かした美しい景観形成を図る。 ・泉パークタウン等の丘陵地高台の住宅団地は、緑と融合した自然環境豊かな景観とする。
--

② 評価結果

改変後の地形による景観への影響は、周辺環境と調査した景観及びくつろぎとやすらぎ、潤いある住宅地景観を形成していることから、上記の基準と整合が図られていると評価する。